R7.1.8　第1回総合計画審議会　資料1-1

第2次南魚沼市総合計画(後期基本計画)

令和7年度～令和9年度

実 施 計 画(案)

目　　次

1. 計画の概要 ・・・

1. 計画の概要

1. 計画の意義

第2次南魚沼市総合計画の基本構想における将来像「自然・人・産業の和で築く 安心のまち」を実現するため、基本計画の基本施策ごとに実施する具体的な事業について、毎年度、ローリング方式により向こう3年間の計画として実施計画を策定し、適切な進行管理を行うとともに、予算編成の指針とします。ただし、計画期間における予算措置や実施を担保するものではありません。

2. 計画の期間

令和7年度から令和9年度まで

3. 施策の達成目標

基本施策の進捗状況を検証するとともに、達成度の客観的な評価をするため、令和6年度を最終評価年度として施策の達成目標(指標)を設定し、毎年度、現在値を公表します。

4. 計画の対象事業

(1) ハード事業

・普通建設事業

施設の建設、建替、除却、機能強化(長寿命化改修、耐震改修、バリアフリー改修)や道路等インフラ整備などに要する費用

・大規模修繕事業

1件が1,000万円程度以上の修繕を含む事業費

・市以外が行う事業

国、県、土地改良区、農業協同組合等が実施する投資的事業に対する負担金や補助金

・一定規模以上の備品購入

1,000万円以上の備品購入費

(2) ソフト事業

扶助費、負担金・補助金、特別会計繰出金等が、予算の細目で1,000万円以上となる事業
ただし、施設に係る経常的な経費(光熱水費、修繕費、管理委託費、任用職員費等)を除く

(3) 重要な事業

(1)及び(2)に関わらず、施策の目標達成における重要性が高い事業

5. 掲載内容についての注記

【戦略プロジェクト】

・後期基本計画は、「南魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の第2期計画を「戦略プロジェクト」として組み込んでおり、対応する基本プロジェクト番号を記載しています。なお、戦略プロジェクトの基本プロジェクトの一覧は、参考資料として巻末に掲載しています。

【事業No.】

・一般会計以外(介護保険特別会計、病院事業会計、水道事業会計及び下水道事業会計)において実施する事業には、「介護」、「病院」、「上水」及び「下水」を記載しています。

・ハード事業は「■」、ソフト事業は「〇」を記載しています。

【事業名 事業費】

・事業名と事業費は、原則として予算の細目と一致させていますが、事業内容によっては不一致となる場合があります。その場合は、予算額の右側に「※」を記載しています。

・令和7年度当初予算額を「【R7年度当初予算〇千円】」、参考として前年度(令和6年度)当初予算額を「【参考(前年度)〇千円】」と記載しています。

・令和7年度から令和9年度までの計画期間中に予定していた事業のうち、国補正予算等を活用し、令和6年度補正予算に計上したうえで、令和6年度に繰り越して実施する予定の事業については、【R6年度補正予算(翌年度実施)〇千円】と記載しています。

・事業を実施していても、実施計画上の予算が不要な場合は、予算額を「0千円」と記載しています。事業を実施していない場合や事業に未着手の場合は、「事業なし」と記載しています。

・実施事業のうち、事業内容の一部又は全部を「ふるさと応援活用基金事業」と位置付けた事業があります。(うち、ふるさと応援活用基金事業分)と記載しています。

【事業内容】

・事業の目的や目標とともに、令和7年度に重点的に取り組む内容を「【R7年度】」として記載しています。

【3年間の事業費】

・令和7年度、令和8年度及び令和9年度の事業費の合計(10万円未満切捨て)を記載しています。

2. 基本施策ごとの実施事業

「6分野の政策大綱」と「33の基本施策」

	基本施策番号
1 保健・医療・福祉	
1 こころとからだの健康づくりの推進	1−1
2 地域完結型保健医療体制の充実	1−2
3 子育て環境の充実	1−3
4 障がい者福祉の充実	1−4
5 高齢者福祉・介護の充実	1−5
6 地域で支えあう福祉の充実	1−6
2 教育・文化	
1 学校教育の充実	2−1
2 生涯学習の充実	2−2
3 地域文化の振興	2−3
4 生涯スポーツの推進	2−4
5 地域・家庭教育の充実	2−5
6 子ども・若者やその家族への支援の充実	2−6
7 地域に根ざした野外・環境教育の推進	2−7
3 環境共生	
1 自然環境の保全	3−1
2 循環型社会の推進	3−2
3 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	3−3
4 生活環境の向上	3−4
4 都市基盤	
1 計画的な土地利用の推進	4−1
2 ひとにやさしいまちづくり	4−2
3 住環境の整備	4−3
4 上下水道の整備	4−4
5 産業振興	
1 農業の振興	5−1
2 林業の振興	5−2
3 観光の振興	5−3
4 商工業の振興	5−4
5 雇用の促進	5−5
6 行財政改革・市民参画	
1 行財政運営の効率化	6−1
2 協働のまちづくり	6−2
3 災害に強い安全と安心のまちづくり	6−3
4 情報化の推進	6−4
5 交流の推進と国際化	6−5
6 共感と共生のまちづくり	6−6
7 総合的な人口減少対策の推進	6−7

1　保健・医療・福祉
地域ぐるみでつくる健康・福祉・子育てのまち

基本施策
1　こころとからだの健康づくりの推進

基本方針

○ 健康推進員などの地区組織や地域づくり協議会との協働による健康づくりの環境整備を推進し、市民一人ひとりが積極的に健康づくりに取り組み、心身ともに健やかでいきいきと暮らせるよう努めます。

○ 妊娠・出産、子育てまでの切れ目のないきめ細やかな支援の充実を図り、安心して妊娠・出産、子育てができる環境を整えます。

○ 健康診査内容の充実と受診しやすい環境の整備を図り、生活習慣病の発症と重症化の予防、疾病の早期発見に努めるとともに、受診データの分析による効果的な保健指導などを実施します。

○ 精神疾患への正しい理解や相談窓口の周知を行うとともに、医療機関や関係機関と連携した相談窓口の充実を図り、こころの健康づくりを推進します。

施策

1 市民参加による健康づくりの環境整備
2 妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援
3 生活習慣病の発症予防、重症化予防
4 地域社会が連携したこころの健康づくり

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
特定健診(国保ドック・集団健診)受診率	51.2%	48.5%	60%
特定健診肥満者(BMI25以上)割合	男性24.5%女性18.2%	男性26.7%女性18.7%	男性23%以下女性18%以下
自殺者数(過去10年間の平均人数)	18人	15人	18人以下

戦略プロジェクト

Ⅲ-1	Ⅳ-1			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01 介護	○	筋力づくり教室事業 [1-5再掲事業] 【R7年度当初予算　3,400 千円】※ 【 参考(前年度)　3,400 千円】※	生涯現役で要介護とならないための介護予防対策として、筋力づくり教室事業を継続実施するとともに、時代の変化をふまえた形の筋力づくりサポーターの後継者養成を行います。	継続	継続	継続	介護保険課
				【3年間の事業費】 10,200 千円			
02	○	母子保健事業費 【R7年度当初予算　94,570 千円】 【 参考(前年度)　110,985 千円】	乳幼児健診や離乳食教室などの各種事業で心身の発育・発達を確認しながら適切な支援を行うとともに、妊婦健診の無料受診券の交付などによる経済的な負担軽減、産後ケア事業の充実、相談支援を実施し、安心して産み育てられる環境づくりを進めます。 また、経済的支援として出産子育て応援金給付を実施します。 【R7年度】乳幼児健診問診票デジタル化の対象健診を拡大します。	継続	継続	継続	保健課・こども家庭サポートセンター
				【3年間の事業費】 288,300 千円			
03	○	不妊治療医療費助成事業費 【R7年度当初予算　5,000 千円】 【 参考(前年度)　4,000 千円】	不妊及び不育症治療費の助成を行い、精神的・経済的な負担軽減を図り、安心して出産できる環境づくりを進めます。	継続	継続	継続	保健課
				【3年間の事業費】 15,000 千円			
04	○	妊産婦医療費助成事業費(市単独) [1-3再掲事業] 【R7年度当初予算　11,196 千円】 【 参考(前年度)　11,196 千円】	妊産婦の医療費の負担軽減を図ることにより、疾病の早期発見と早期治療を促進して、安心して出産できる環境づくりを進めます(保険適用医療費の一部負担分を全額助成)。	継続	継続	継続	子育て支援課
				【3年間の事業費】 33,500 千円			
05	○	子ども医療費助成事業費 [1-3再掲事業] 【R7年度当初予算　168,292 千円】 【 参考(前年度)　148,031 千円】	子どもの医療費の負担軽減を図り、子育て世代を手厚く支援します。特に、医療機関への受診機会が多い乳幼児は、入院・通院とも全額助成します。 ・0歳～就学前：入院・通院費とも無料 (保険適用医療費の一部負担分を全額助成) ・小学生～高校生：自己負担は、通院1回530円・入院1日1,200円 (保険適用医療費のうち自己負担を除く額を助成)	継続	継続	継続	子育て支援課
				【3年間の事業費】 547,100 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
06	○	基礎健診事業費 【R7年度当初予算　5,000 千円】 【 参考(前年度)　4,980 千円】	市民の健康づくりと健診への意識や理解を高めるとともに、生活習慣病予防と健康寿命の延伸につなげるため、16歳以上の人を対象に特定健診に準じた健診を行います。また、市民が安心して受診できる環境づくりを進めます。	継続	継続	継続	保健課
				【3年間の事業費】 15,700 千円			
07	○	住民健診事業費 【R7年度当初予算　69,090 千円】 【 参考(前年度)　67,494 千円】	がんの早期発見と重症化を防ぐために、各種がん検診を行います。無料クーポン券配布、がん(検診)の知識普及や受診環境の改善により受診を促進します。	継続	継続	継続	保健課
				【3年間の事業費】 201,500 千円			
08	○	予防対策事業費 【R7年度当初予算　293,747 千円】 【 参考(前年度)　173,460 千円】	予防接種に関する正しい知識の普及・啓発により接種率の向上を図り感染症を予防します。国の制度改正や情勢に合わせながら慎重に対応し、市民の負担軽減と適正な予防接種の推進に努めます。 【R7年度】高齢者の新型コロナウイルス予防接種補助及び予診票デジタル化の対象接種を拡大します。	継続	継続	継続	保健課
				【3年間の事業費】 893,700 千円			
09	○	国民健康保険対策費 【R7年度当初予算　387,309 千円】 【 参考(前年度)　413,132 千円】	市民の約21%が加入する国民健康保険の保険基盤安定のため、事務費・人件費及び低所得者への保険税軽減(割引)分など、法定基準に基づく負担分を特別会計に繰り出します。	継続	継続	継続	市民課
				【3年間の事業費】 1,142,500 千円			
10	○	後期高齢者保健事業費 【R7年度当初予算　28,378 千円】 【 参考(前年度)　26,554 千円】	75歳以上の人の健康診査及び歯科健診を実施するとともに、人間ドック費用の助成を行い、疾病の予防を図り健康寿命の延伸を目指します。	継続	継続	継続	市民課
				【3年間の事業費】 86,300 千円			
11	○	歯科保健対策事業費 【R7年度当初予算　11,500 千円】 【 参考(前年度)　11,256 千円】	1歳児から3歳児を対象とした歯科健診、フッ化物塗布や、園児から中学生までを対象とした虫歯予防教室、フッ化物洗口などの虫歯予防事業を行います。 また、歯周疾患を防ぐため妊娠期を含めた成人期の歯科健診及び保健指導を行います。	継続	継続	継続	保健課
				【3年間の事業費】 34,500 千円			
12	○	自殺予防対策事業費 【R7年度当初予算　564 千円】 【 参考(前年度)　498 千円】	うつ病や統合失調症などの精神疾患が自殺の要因になり得ることや、自殺予防に関する正しい知識を持つことにより、市民が周囲の人々へ早期に対応できるよう、専門医や関係機関と連携し、専門相談会の開催や個別相談などの自殺予防対策に取り組みます。また、スタッフ研修会や関係団体との情報交換会の開催により、関係職員の相談対応能力の向上を図ります。	継続	継続	継続	保健課
				【3年間の事業費】 1,600 千円			

1　保健・医療・福祉
地域ぐるみでつくる健康・福祉・子育てのまち

基本施策
2　地域完結型保健医療体制の充実

基本方針

○「地域医療連携パス」や「紹介・逆紹介」による医療連携を推進し、魚沼基幹病院を中心とした地域完結型医療体制の充実を図るとともに、関係機関との連携を深化させることで、在宅医療を含めた包括的な支援体制を強化し、地域包括ケアシステムの確立を目指します。

○「魚沼地域医療連携ネットワーク（うおぬま・米（まい）ねっと）」加入を促進し、地域内での効率的な医療連携を図ります。

○妊産婦・乳幼児の健診から精密検査、治療まで小児医療連携体制の充実を図り、安心して出産・子育てができる環境づくりを推進します。

○市立病院の機能と特性を活かした役割分担により、在宅医療連携体制の充実を図ります。

○安定した医療を提供するため、寄附講座の拡充などによる市立病院の常勤医師を確保する仕組みや体制を構築し、地域における医師不足の解消に努めます。

○市立病院群のそれぞれが持つ類似機能を整理統合して役割分担を明確化し、運営の一体化による経営の安定を図るため、新たな改革プランを策定します。

施策

1 地域医療体制の充実　　2 持続可能な市立病院の運営

3 予防医療・在宅医療の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
うおぬま・米ねっと加入者数	10,480人	13,381人	20,000人

戦略プロジェクト			
Ⅰ-3	Ⅳ-1		

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01 病院	■	総合的保健医療体制整備事業費 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　0 千円】	魚沼基幹病院を中心とした魚沼地域の体系的な医療体制の充実のため、市立病院等の整備を進めます。			【3年間の事業費】 0 千円	病院事業
01-1 病院		市民病院整備事業 ［R元年度完了］	閉院となった県立六日町病院の隣接地に、南魚沼市民病院を整備しました。				病院事業
01-2 病院		大和地域包括医療センター整備事業 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　0 千円】	大和地域包括医療センターの運営について、医療体制や施設の移転整備について検討を行います。			【3年間の事業費】 0 千円	病院事業
01-3 病院		健診施設等整備事業費 ※P66ふるさと応援活用基金に記載 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　0 千円】	現在の健友館を南魚沼市民病院の隣接地に移転することで、市民病院からの人的支援を要する住民健診業務等の効率化を図るとともに、保険診療分野を超えて医療従事者が介護予防に注力することにより健康寿命の延伸を図り、人生100年時代に向けた健康長寿社会の実現を目指します。 また、胃カメラ検査を充実させ人間ドックの利用可能人数を十分に確保することで、健診が地域内で完結できる体制を確保します。			【3年間の事業費】 0 千円	病院事業
02	○	看護師修学資金貸与事業費 【R7年度当初予算　19,200 千円】 【 参考(前年度)　16,800 千円】	市内の医療機関等で看護師として働くことを目指し、市内の養成機関に進学、在学する者を支援することにより、若者の定住を促進するとともに、医療従事者の確保による地域医療の充実を図ります。毎年10名以内に最大で48か月間、月額5万円を貸与し、卒業後60か月の市内勤務で返済を全額免除します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 67,800 千円	保健課

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
03 病院	■	医療機器等整備事業費 【R7年度当初予算　21,500 千円】 【 参考(前年度)　20,000 千円】	市立病院の医療機器を整備し、良質な医療環境の確保を目指します。	継続	継続	継続	病院事業
				【3年間の事業費】 66,000 千円			
04	○	病院事業対策費 【R7年度当初予算　900,000 千円】 【 参考(前年度)　860,000 千円】	病院事業の理念である「地域住民の『生きる』を支え続ける」ことができる医療提供体制を守るため、経営改善及び市民サービスの向上に取り組めるよう、市民病院等の運営に対し一般会計が繰出金で支援します。	継続	継続	継続	病院事業
				【3年間の事業費】 2,700,000 千円			

1　保健・医療・福祉
地域ぐるみでつくる健康・福祉・子育てのまち

基本施策
3　子育て環境の充実

基本方針

○「生まれてくれてありがとう　育ててくれてありがとうのまちづくり」をテーマとする「第２期南魚沼市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、家庭と地域における子育ての重要性を踏まえ、子ども達の成長段階に応じた教育・保育の環境を整備し、子育て世代が安心して暮らし続けることができる環境づくりや、地域社会全体で子育てを支えあうネットワークの構築を推進します。

施策

1 地域で子育てを支える環境の充実　　2 保育サービスの充実
3 放課後児童の健全育成の推進　　4 子育て家庭への支援の充実

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
保育園再編による公立保育園数	20か所	19か所	17か所
放課後児童クラブを利用する児童の割合	20.9%	21.5%	26%
ゼロ歳児保育実施保育所率(公立・民間)	70.3%	65.3%	76%
延長保育実施保育所率(公立・民間)	62.9%	73.0%	68%

戦略プロジェクト

Ⅲ-1

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	ほのぼの広場事業費 【R7年度当初予算　28,301 千円】 【 参考(前年度)　28,301 千円】	主に0歳から就学前の乳幼児の親子を対象に、親子での遊び、子育て仲間同士の情報交換、育児相談などを行う「ほのぼの広場」を市内3か所に開設します。六日町会場では、小学校3年生までの親子を対象とした「ふれ愛広場」も開設します。 また、遊びの教室(発達支援)、子育て支援学習会、のびのびタイム(親子ふれあい体操)を定期的に開催します。	継続	継続	継続	子育て支援課
				【3年間の事業費】 84,900 千円			
02	■	全天候型遊びの広場整備事業 [H29年度完了]	ほのぼの広場と全天候型遊びの広場を組み合わせ、小学3年生以下の児童と保護者が、天候、季節を問わず、のびのびと遊ぶことができる屋内広場をイオン六日町店商業テナント内に整備しました。				子育て支援課
03	■	子ども家庭総合支援拠点整備事業 [R2年度完了]	子どもや妊産婦等を対象として、家庭の実情を把握するとともに、専門的な相談対応、調査、訪問による継続的なソーシャルワーク業務などの支援を行うため、子ども家庭総合支援拠点を整備し、令和3年度に子ども家庭サポートセンターを開設しました。				子育て支援課・保健課
04	○	保育園等送迎バス運行事業費 【R7年度当初予算　11,000 千円】 【 参考(前年度)　11,000 千円】	運転員の数や運行経路を考慮し、効率的な運行形態となるよう民間委託も取り入れ、安全管理に努めながら保育園バスを運行します。	継続	継続	継続	子育て支援課
				【3年間の事業費】 33,000 千円			
05	■	保育園大規模改修事業費 【R7年度当初予算　25,000 千円】 【 参考(前年度)　20,000 千円】	公共施設等総合管理計画に基づき、今後公立保育園として存続する施設を順次改修して長寿命化を図ります。 【R7年度】令和7年度に石打保育園と上関保育園を統合し石打保育園を開園します。それに伴い上関保育園の除却を行います。	継続	継続	継続	子育て支援課
				【3年間の事業費】 79,200 千円			
06	■	保育園等施設整備事業費 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　0 千円】	保育園整備計画に基づき、公立保育園の建設及び空調機器、消雪設備、駐車場の整備などを行い、保育環境の向上に努めます。				子育て支援課
				【3年間の事業費】 0 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07	○	医療施設病児・病後児保育事業費 【R7年度当初予算　10,000 千円】 【 参考(前年度)　10,037 千円】	医療機関などが実施する病児保育、病後児保育事業へ補助金を交付し、子育てと仕事の両立を支援します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 30,000 千円	子育て支援課
08	○	学童保育対策事業費 【R7年度当初予算　260,398 千円】 【 参考(前年度)　213,839 千円】	ＮＰＯ法人すまいるネット南魚沼、萌気会、若葉会、野の百合福祉会及び長慶福祉会に学童保育事業を委託し、児童の健全育成と働く保護者の支援に取り組みます。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 781,100 千円	学校教育課
09	■	学童クラブ施設整備事業費 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　0 千円】	学校の余裕教室や民間の施設などを利用し、放課後に子どもたちが安全に、安心して過ごすための学童保育施設を整備し待機児童解消を図ります。			【3年間の事業費】 0 千円	学校教育課
10	○	妊産婦医療費助成事業費(市単独) 【R7年度当初予算　11,196 千円】 【 参考(前年度)　11,196 千円】	妊産婦の医療費の負担軽減を図ることにより、疾病の早期発見と早期治療を促進して、安心して出産できる環境づくりを進めます(保険適用医療費の一部負担分を全額助成）。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 33,500 千円	子育て支援課
11	○	子ども医療費助成事業費 【R7年度当初予算　168,292 千円】 【 参考(前年度)　148,031 千円】	子どもの医療費の負担軽減を図り、子育て世代を手厚く支援します。特に、医療機関への受診機会が多い乳幼児は、入院・通院とも全額助成します。 ・0歳～就学前：入院・通院費とも無料 (保険適用医療費の一部負担分を全額助成) ・小学生～高校生：自己負担は、通院1回530円・入院1日1,200円 (保険適用医療費のうち自己負担を除く額を助成)	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 547,100 千円	子育て支援課
12	○	ひとり親家庭医療費助成事業費(県単) 【R7年度当初予算　25,996 千円】 【 参考(前年度)　25,998 千円】	父母の離婚、死亡などにより、ひとり親家庭となった世帯の父又は母とその児童等に対し医療費の一部を助成し、経済的負担を軽減します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 82,600 千円	子育て支援課
13	○	児童手当支給事業費 【R7年度当初予算　1,105,321 千円】 【 参考(前年度)　829,848 千円】	家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に、高校生年代までの児童を養育している人に所得制限なく手当を支給し、子育てを支援します（令和6年10月より拡充）。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 3,266,400 千円	子育て支援課
14	○	児童扶養手当支給事業費 【R7年度当初予算　164,082 千円】 【 参考(前年度)　164,052 千円】	父母の離婚などにより、父又は母の一方と生計を同じくしていない児童を監護している場合に手当を支給し、家庭生活の安定と自立の促進を図ります。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 492,200 千円	子育て支援課
15	○	出産応援緊急5か年事業費 【R7年度当初予算　46,100 千円】 【 参考(前年度)　46,100 千円】	出産のお祝いと出生児の明るい未来を願って、第1子出生時に12万円の祝い金を支給します。さらに、第2子には15万円、第3子以降には20万円を支給します。 出生率向上に向けた緊急対策と位置づけて、令和３年度からの５か年事業として実施します。	完了		【3年間の事業費】 46,100 千円	子育て支援課

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
16	■	子育てICT運営費 【R7年度当初予算　20,691 千円】 【　参考(前年度)　36,029 千円】	保育士業務にＩＣＴを導入し、登降園管理・午睡チェック・お便り配信、各種保育記録作成などに活用し、子どもと関わる時間をより多く確保することを目指します。	継続	継続	継続	子育て支援課
				【3年間の事業費】 62,000 千円			

1　保健・医療・福祉
地域ぐるみでつくる健康・福祉・子育てのまち

基本施策
4　障がい者福祉の充実

基本方針

○ 「南魚沼市障がい者計画」及び「南魚沼市障がい福祉計画・障がい児福祉計画」について、自立支援協議会を通して地域の声を聞きながら進捗管理を推進します。

○ 障がい者が地域での自立した生活や社会生活を営むことができるよう、関連機関と連携し、個々の障がい特性に合わせた支援サービスを提供します。

○ 障がいを理由とする差別の解消と虐待の防止など、障がいへの理解と人権教育・啓発に努めます。

施策

1 相互理解と共に支えあう社会の推進　　2 自立支援と社会参加の促進

3 障がい児支援の充実

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
理解促進研修の開催数	5回	8回	6回
地域生活支援拠点等事業における緊急支援同意者数	36人	53人	50人

戦略プロジェクト

Ⅳ-1

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	心身障がい者助成事業費 【R7年度当初予算　25,000 千円】 【 参考(前年度)　25,126 千円】	障がい者の自立と社会参加を促進するため、タクシー利用料金助成、施設入所者交通費助成、施設通所交通費助成、人工透析者通院費助成、精神障がい者医療費助成、社会参加促進費助成、軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成などの事業を実施します。	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 75,000 千円			
02	○	心身障がい者施設負担金事業費 【R7年度当初予算　24,576 千円】 【 参考(前年度)　24,590 千円】	障がい者の通所及び入所施設の建設時借入金の償還金と施設運営費について、その一部を負担します。	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 73,700 千円			
03	○	重度心身障がい者医療費等助成事業費 【R7年度当初予算　155,000 千円】 【 参考(前年度)　157,078 千円】	重度心身障がい者の医療費の一部を助成し、健康の維持向上と経済的負担の軽減を図ります。	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 480,000 千円			
04	○	特別障がい者手当等給付事業費 【R7年度当初予算　30,000 千円】 【 参考(前年度)　33,000 千円】	在宅で常時特別な介護を必要とする重度心身障がい者に手当を支給し、生活全般の負担を軽減し福祉の向上を図ります。	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 84,000 千円			
05	○	障がい者自立支援事業費 【R7年度当初予算　1,300,000 千円】 【 参考(前年度)　1,282,000 千円】	障がい者の自立を支援するため、公的制度に基づいた障がい福祉サービスの給付(介護給付、訓練等給付、相談支援給付)や障がい児福祉サービス、自立支援医療の給付、補装具費の支給などを実施します。	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 3,960,000 千円			
06	○	障がい者地域生活支援事業費 【R7年度当初予算　115,785 千円】 【 参考(前年度)　116,148 千円】	障がい者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な支援事業を実施します。 ・相談支援事業 ・地域活動支援センター事業 ・日常生活用具の給付 ・日中一時支援事業 ・生活サポート、移動支援、訪問入浴介護等 ・成年後見制度利用支援事業 ・理解促進研修・啓発事業 ・意思疎通支援事業 ・手話奉仕員養成研修事業 ・基幹相談支援センター事業	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 350,700 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07	■	障がい者施設整備費 ［R4年度完了］	就労継続Ｂ型事業所と地域活動III型事業所が利用している浦佐福祉の家について、令和4年度に耐震工事を実施し、事業を実施している社会福祉法人に譲渡しました。引き続き浦佐地域で障がい福祉サービスを継続していきます。				福祉課
08	○	障がい福祉施設実習生助成事業 【R7年度当初予算　500 千円】※ 【　参考(前年度)　500 千円】※	資格取得のために必要な現場実習の際に宿泊するホテル代等を助成します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 1,500　千円	福祉課
09	■	ふれ愛支援センター施設改修工事 【R7年度当初予算　0 千円】 【　参考(前年度)　0 千円】	指定避難所となっているふれ愛支援センターの施設改修で、配線取替工事と南側の屋根屋上・外壁・空調の改修工事を行います。		新規	継続 【3年間の事業費】 58,700　千円	福祉課

1　保健・医療・福祉
地域ぐるみでつくる健康・福祉・子育てのまち

基本施策
5　高齢者福祉・介護の充実

基本方針

○ 高齢者の就業機会や生涯学習、ボランティアなどを通じた社会参加を支援するとともに、高齢者世帯への支援制度づくりに取り組みます。
○ 高齢者が要介護状態となることを予防し、健康寿命を延伸するため、ボランティアによる介護予防教室の開催や地域の通いの場の活用など、地域と連携した介護予防事業を推進します。
○ 生活習慣病や認知症の進行は要介護状態となる要因と密接に関連することを踏まえ、その重度化防止と、市民それぞれによる若年時からの健康づくりの促進を図ります。
○ 地域包括ケアシステムの深化に向け、関連する多職種の連携や、ボランティアなどの市民が主体となって行う助け合いの取組を促進します。
○ 介護サービスの質と量の安定した提供を図るため、介護人材の確保と職場への定着を支援します。
○ 認知症についての正しい理解の普及と支援の充実化に向け、関係機関との連携と、認知症サポーター養成講座などの研修機会の提供に取り組むとともに、虐待事案が発生した場合の適切な早期対応と虐待防止の啓発に取り組みます。

施策

1 介護予防の充実
2 安心して利用できる介護サービスの充実
3 高齢者の社会参加と自立支援
4 共に支えあう環境づくり

指標名	R1現在値	最新値(R6)	R6目標値
前期高齢者の要介護認定率	3.2%	3.7%	3.2%以下
筋力づくり教室参加者	延べ12,160人	延べ8,942人	延べ17,600人

戦略プロジェクト

Ⅳ-1

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01 介護	○	筋力づくり教室事業 【R7年度当初予算　3,400 千円】※ 【 参考(前年度)　3,400 千円】※	生涯現役で要介護とならないための介護予防対策として、筋力づくり教室事業を継続実施するとともに、時代の変化をふまえた形の筋力づくりサポーターの後継者養成を行います。	継続	継続	継続	介護保険課
				【3年間の事業費】 10,200 千円			
02	○	介護人材確保緊急5か年事業費 【R7年度当初予算　16,600 千円】 【 参考(前年度)　16,600 千円】	介護人材不足が深刻な問題となっている中で、新たに介護サービス事業所に就職した者・当市に移住し介護サービス事業所に就職した者・介護の現場に復帰した者・継続して市内居宅介護支援事業所に勤務している介護支援専門員・介護支援専門員実務研修受講試験に合格し、市内居宅介護支援事業所に就職した者に対して補助を行い、介護サービスの質と量の安定した提供を図ります。 介護人材確保に向けた緊急対策と位置づけて、令和３年度からの５か年事業として実施します。	完了			介護保険課
				【3年間の事業費】 16,600 千円			
03	○	高齢者生活支援事業費 【R7年度当初予算　37,869 千円】 【 参考(前年度)　37,476 千円】	在宅高齢者への生活支援として、在宅要介護高齢者家族手当の支給、一人暮らし等高齢者緊急通報装置貸与、高齢者及び要配慮世帯住宅除雪援助、養護老人ホーム短期入所、高齢者･障がい者向け住宅整備費補助、在宅高齢者紙おむつ給付などを行い、高齢者福祉の向上を図ります。	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 113,600 千円			
04	○	高齢者能力活用事業費 【R7年度当初予算　10,330 千円】 【 参考(前年度)　10,325 千円】	高齢者に働く機会を提供し、生きがいの充実や健康の維持・増進、経済的な安定を図るため、南魚沼シルバー人材センターの運営費の一部を補助します。	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 30,900 千円			
05	○	老人福祉施設負担金事業費 【R7年度当初予算　55,812 千円】 【 参考(前年度)　19,598 千円】	特別養護老人ホーム八色園の運営費の一部を負担します。 【R7年度】老朽化したエアコンの更新を行います。	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 178,500 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
06	■	魚沼荘改築事業費 ［H28年度完了］	施設の老朽化と設備基準の改正に伴い平成26年度から現在地で実施していた改築工事は、平成28年度で完了しました。				福祉課
07	○	介護保険対策費 【R7年度当初予算　1,092,100 千円】 【 参考(前年度)　1,074,658 千円】	介護保険により給付する介護費用及び地域支援事業費(総額約69億円)のうち法定率の12.5%(地域支援事業の包括的支援事業・任意事業は19.25%)と、事務にかかる人件費及び事務費を市が負担します。 第9期介護保険事業計画に基づき、持続可能な介護サービスの提供に向け、介護給付の適正化や介護予防事業などの強化に努め、地域住民による支援体制づくりを含めた地域包括ケアシステムの深化と推進を目指します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 3,281,700 千円	介護保険課
08	○	後期高齢者医療対策費 【R7年度当初予算　803,980 千円】※ 【 参考(前年度)　807,610 千円】※	75歳以上の人を対象とした後期高齢者医療制度の運営のため、人件費・事務費及び保険料軽減分の補てん費用を特別会計に繰り出します。 また、新潟県後期高齢者医療広域連合に対して療養給付費の1/12と事務共通経費を負担します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 2,459,200 千円	市民課

1　保健・医療・福祉
地域ぐるみでつくる健康・福祉・子育てのまち

基本施策
6　地域で支えあう福祉の充実

基本方針

○ 市民や団体、社会福祉協議会などの関係機関、行政それぞれが役割を果たし、協働して地域福祉の充実を図ることで「南魚沼市地域福祉計画」の基本理念である「地域ぐるみでつくる安全・安心のまち、市民の手で支えあう福祉のまち」づくりを推進します。

○ 市民や団体、民生委員児童委員、社会福祉協議会などの関係機関、行政との情報共有と連携を強化するとともに、福祉のまちづくり運動推進地区を中心に地域コミュニティの活性化に取り組むことにより、地域全体で支えあう環境づくりと市民主体の活動を支援します。

○ 生活に困難を抱えている市民が安定した生活を営むことができるように、自立に向けた支援の拡充を図ります。

施策

1 市民主体の地域活動への支援　　2 地域福祉の推進

3 生活困窮者への支援

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
ふれあい・いきいきサロンの参加者数	18,181人	延べ10,017人	20,400人

戦略プロジェクト

Ⅳ-1

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	老人クラブ推進事業費 【R7年度当初予算　4,264 千円】 【 参考(前年度)　4,264 千円】	高齢者の生きがい、健康づくり、ボランティア活動を推進するため、国・県の補助を受けて老人クラブに助成します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】12,700 千円	福祉課
02	○	敬老会事業費 【R7年度当初予算　12,000 千円】 【 参考(前年度)　13,483 千円】	各団体が行う敬老会事業に助成します。長寿祝いとして、米寿(88歳)に祝い状、百寿(100歳)に祝い状と祝い金を贈呈します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】36,000 千円	福祉課
03	○	地域福祉計画策定事業費 [R3年度完了]	第3期計画(計画期間：平成29～令和3年度)を平成28年度に策定しました(令和3年度には第4期計画(計画期間：令和4～8年度)を策定しました)。				福祉課
04	○	社会福祉協議会推進事業費 【R7年度当初予算　62,046 千円】 【 参考(前年度)　60,266 千円】	社会福祉協議会(社協)の運営費の補助を行います。社協では、南魚沼なじょもネット等のボランティア活動支援、募金事務、市の委託事業及び在宅福祉事業などを実施し、地域福祉の推進に寄与しています。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】188,500 千円	福祉課
05	○	民生委員・児童委員事業費 【R7年度当初予算　14,372 千円】 【 参考(前年度)　14,069 千円】	厚生労働大臣の委嘱を受け、地域住民の相談や支援、福祉行政への協力を職務とする民生委員・児童委員に活動費を支給します。委員数は市内で142人(うち主任児童委員8人)で、大和(31人)、六日町(64人)、塩沢(47人)の各協議会での活動を基本とし、市全体の協議会を組織しています。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】42,900 千円	福祉課
06	○	生活困窮者支援費 【R7年度当初予算　37,670 千円】 【 参考(前年度)　36,885 千円】	様々な事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活維持が困難になるおそれのある生活困窮者の自立のため、自立相談、家計改善、就労準備、一時生活及び学習支援など各種事業の実施と、住居確保給付金の支給により、包括的かつ早期の支援を行います。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】114,400 千円	福祉課
07	○	生活保護扶助費 【R7年度当初予算　355,000 千円】 【 参考(前年度)　355,000 千円】	国の定める生活保護基準を下回る生活をしている人に対し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するため、生活保護費を支給します。 また、障がいなどのため居宅生活が困難な保護利用者が入所する救護施設の運営経費を負担します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】1,065,000 千円	福祉課

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
08	○	要保護･準要保護児童援助事業費(小学校) ［2-1再掲事業］ 【R7年度当初予算　22,000 千円】 【 参考(前年度)　24,757 千円】	経済的理由により就学困難な児童の保護者へ、学校生活にかかる諸経費の扶助を行います。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 66,000 千円			
09	○	要保護･準要保護生徒援助事業費(中学校) ［2-1再掲事業］ 【R7年度当初予算　20,000 千円】 【 参考(前年度)　23,865 千円】	経済的理由により就学困難な生徒の保護者へ、学校生活にかかる諸経費の扶助を行います。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 60,000 千円			
10	○	医療のまちづくりモデル事業費 【R7年度当初予算　4,800 千円】 【 参考(前年度)　4,700 千円】	「南魚沼市医療のまちづくり」を進めていく一環として、移動販売車による買い物支援サービスを実施します。日々の買い物に不便を感じている住民の利便性向上と地域住民の交流機会の創出を図ります。	継続	継続	継続	U&Iときめき課
				【3年間の事業費】 14,400 千円			

2 教育・文化
学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち

基本施策
1 学校教育の充実

基本方針

○ 幼児期の教育は、生涯にわたる人格の基礎を培う重要なものであることから、幼児期からの教育を充実させ、子ども達一人ひとりが自ら学び、考え、行動できる能力の向上を図ります。また、いきいきと学校生活が送れるように、「南魚沼らしい」教育資源の活用により教育環境の整備・充実を図り、心豊かでたくましい児童・生徒を育成します。

○ 教員の指導力の向上と業務効率化に努めるとともに、学校や家庭学習におけるICTを活用した教育環境を整備し、学びの可能性の拡大を図ることにより、社会のニーズや変化に的確に対応できる個性豊かな人材を育成します。また、外国籍の子ども達が安心して学べる環境整備に努め、互いの文化や考え方を尊重し、国際的な感覚を身につけた子ども達の育成を目指します。

○ 南魚沼市いじめ問題対策連絡協議会などの機能強化を図り、学校、家庭、地域、その他関係者との連携により複雑かつ深刻な教育課題に積極的に対処し、相談体制の充実に活かすとともに、互いを思いやり、命を大切にし、正しいことをやりとおす「こころの教育」の充実に努めます。

施策

1 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進
2 幼児教育と小学校の接続カリキュラムの円滑な推進
3 いじめや不登校対策の推進
4 ICTを活用した教育の推進
5 学校教育施設の整備
6 小・中学校の連携強化
7 高等教育との連携・交流支援
8 総合教育会議の充実

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
学級生活に満足している子どもが60%を超える学級の割合(Q-U調査)	68.0%	58.2%	75%
家庭学習を目標時間以上達成している子どもが70%を超える学級の割合(家庭学習時間調査)	小学校77.9%中学校44.4%	小学校70.5%中学校48.8%	小学校90%中学校60%
20～40代の人口の転出超過数	246人	71人	180人以下
不登校発生率	小学校0.59%中学校3.83%	小学校1.62%中学校4.59%	小学校0.54%以下中学校3.25%以下

戦略プロジェクト

Ⅱ-1	Ⅲ-2		

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	学級満足度向上事業費 【R7年度当初予算 3,338 千円】 【 参考(前年度) 3,391 千円】	学級環境の健全化が児童生徒の健やかな成長や学力向上に不可欠なため、全国的に取り入れられているQ-U調査(いごこちのよいクラスにするためのアンケート)を実施・分析し、学級環境の充実を図ります。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 10,000 千円			
02	○	教育改革推進事業費 【R7年度当初予算 33,118 千円】 【 参考(前年度) 32,945 千円】	学校が主体的に創意工夫し特色を生かした教育や運営をしていくことに対して補助金を交付する特色ある学校づくり推進事業を実施します。 外国人の児童生徒の授業へ日本語支援の講師を派遣します。また英語授業にＡＬＴを派遣します。 全国標準学力検査を市内の全小中学校で統一実施し、全体的な学力状況を把握し、学力向上につなげます。 子どもたちの「読む力」をリーディングスキルテストにより把握し、適切な指導を行うことで学力の向上につなげます。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 92,300 千円			
03	○	特別支援教育事業費 【R7年度当初予算 160,975 千円】 【 参考(前年度) 160,717 千円】	障がいなど特別な支援を要する児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、学校生活や学習がスムーズに行えるようにするため、学校支援員や学校看護師、特別支援教育推進室相談員を配置し適切な指導と必要な支援を行います。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 491,200 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
04	○	教育課程特例校事業費 【R7年度当初予算　32,090 千円】 【 参考(前年度)　32,293 千円】	全国一律のカリキュラムである生活科・総合的学習の授業を振り替え「国際科」を設置し、市内全小学校で国際大学留学生等による国際理解教育やＡＬＴによる英語教育を実施し、豊かな国際感覚やコミュニケーション能力を育成します。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 96,200 千円			
05	○	子ども･若者支援事業費 ［2-6再掲事業］ 【R7年度当初予算　41,617 千円】 【 参考(前年度)　42,227 千円】	不登校やひきこもり、ニートなどに悩む義務教育期から39歳までの子ども・若者を対象に、子ども支援として相談、来所支援、学習支援、心の教室相談員の配置等を、若者支援として相談、居場所の提供、就労に向けた支援事業等の充実を図ります。また、課題解決に向け、保護者相談、講演会等を実施します。	継続	継続	継続	子ども・若者相談支援センター
				【3年間の事業費】 124,800 千円			
06	○	小学校設備等整備事業費 【R7年度当初予算　67,000 千円】 【 参考(前年度)　64,396 千円】	教職員が使用する校務支援パソコン及びソフトの保守管理など、学校の様々な機器の維持管理を行います。 【Ｒ7年度】校務支援教育端末リースの更新を行います。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 201,000 千円			
07	○	中学校設備等整備事業費 【R7年度当初予算　29,000 千円】 【 参考(前年度)　25,762 千円】	教職員が使用する校務支援パソコン及びソフトの保守管理など、学校の様々な機器の維持管理を行います。 【Ｒ7年度】校務支援教育端末リースの更新を行います。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 87,000 千円			
08	○	特別支援学校設備等整備事業費 【R7年度当初予算　10,000 千円】 【 参考(前年度)　5,185 千円】	教職員が使用する校務支援パソコン及びソフトの保守管理など、学校の様々な機器の維持管理を行います。 【Ｒ7年度】校務支援教育端末リースの更新を行います。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 30,000 千円			
09	○	給食センター調理業務委託事業費 【R7年度当初予算　185,000 千円】 【 参考(前年度)　147,022 千円】	平成29年度から六日町と塩沢学校給食センターを、令和3年度から大和学校給食センターの調理業務を民間委託しました。民間事業者が持つ学校給食の知識、経験を活用し、より美味しく安全安心な学校給食の実現を図ります。 【Ｒ7年度】全ての南魚沼市立学校調理場（センター給食3箇所、自校給食3箇所）において、令和6年度に選考した事業者による調理業務を開始します。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 645,000 千円			
10	■	給食センター大型備品更新事業費 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　事業なし　】	経年劣化した大型備品を計画的に更新し、給食の安定供給に努めます。		新規	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 22,000 千円			
11	■	大和学校給食センター大規模改修事業費 【R7年度当初予算　事業なし　】 【 参考(前年度)　事業なし　】	経年劣化した施設設備を計画的に整備改修し、給食の安定供給に努めます。				学校教育課
				【3年間の事業費】 0 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
12	■	六日町学校給食センター大規模改修事業費 ［R6年度完了］	経年劣化した施設設備を計画的に整備改修し、給食の安定供給に努めました。				学校教育課
13	■	統合給食センター建設事業費 【R7年度当初予算　133,573 千円】 【 参考(前年度)　2,075,155 千円】	老朽化が進んでいる大和学校給食センターと六日町学校給食センターの統合に向け、建設事業を進めます。 【R7年度】引き続き旧大巻小学校グラウンドでの統合給食センター建設工事を進めます。	完了		【3年間の事業費】 133,500 千円	学校教育課
14	■	学校施設長寿命化計画策定事業費 ［R元年度完了］	計画的に施設改修工事を進めるため、各施設の老朽度を調査し、学校施設長寿命化計画を策定しました。				学校教育課
15	■	小学校非構造部材耐震事業費 ［R2年度完了］	平成25年8月文部科学省からの「学校施設における天井等落下防止対策のための手引」に基づき、体育館の非構造部材の耐震補強工事を実施し、安心安全な教育環境の整備を図りました。				学校教育課
16	■	中学校非構造部材耐震事業費 ［H29年度完了］	平成25年8月文部科学省からの「学校施設における天井等落下防止対策のための手引」に基づき、体育館の非構造部材の耐震補強工事を実施し、安心安全な教育環境の整備を図りました。				学校教育課
17	■	特別支援学校非構造部材耐震事業費 ［R3年度完了］	平成25年8月文部科学省からの「学校施設における天井等落下防止対策のための手引」に基づき、体育館の非構造部材の耐震補強工事を実施し、安全安心な教育環境の整備を図りました。				学校教育課
18	■	小学校施設等整備事業費 【R7年度当初予算　25,000 千円】 【 参考(前年度)　18,330 千円】	学校施設の大規模な整備工事を行います。 【R7年度】老朽化した浦佐小プールろ過器及び塩沢小消雪用井戸の改修工事を実施します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 40,000 千円	学校教育課
19	■	中学校施設等整備事業費 【R7年度当初予算　38,000 千円】 【 参考(前年度)　13,000 千円】	学校施設の大規模な整備工事を行います。 【R7年度】老朽化した塩沢中プールろ過器の改修工事及び中学校3校への防犯カメラ設置工事を実施します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 38,000 千円	学校教育課
20	■	小学校大規模改造事業費 【R7年度当初予算　333,449 千円】 【 参考(前年度)　393,837 千円】	老朽化した小学校について、施設の経年劣化などの状況を確認・検討し、計画的に順次大規模改造工事を実施します。			【3年間の事業費】 333,400 千円	学校教育課

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
20-1		小学校大規模改造工事(単独費分) 【R7年度当初予算　事業なし　】 【 参考(前年度)　事業なし　】	小学校体育館の屋根改修工事など、国庫補助金のない改修工事を計画的に進めます。	【3年間の事業費】 0 千円			学校教育課
20-2		統合小学校大規模改造工事 【R7年度当初予算　事業なし　】 【 参考(前年度)　事業なし　】	統廃合に伴う、学校施設の改修などを実施します。	【3年間の事業費】 0 千円			学校教育課
20-3		大崎小学校大規模改造工事 ［R2年度完了］	老朽化した大崎小学校の大規模改修を行いました。 令和2年度(前年度繰越事業)に不足しているトイレを増設し、併せて洋式化と乾式化を実施しました。				学校教育課
20-4		北辰小学校大規模改造工事 【R7年度当初予算　233,449 千円】 (うち、ふるさと応援活用基金事業分) P68事業№14参照　(　233,449 千円) 【 参考(前年度)　385,687 千円】	老朽化した北辰小学校の大規模改修工事を行います。 【R7年度】北辰小学校校舎外壁等の大規模改修工事を実施します。	完了			学校教育課
				【3年間の事業費】 233,400 千円 (うち、ふるさと応援活用基金事業分) 223,400 千円			
20-5		グラウンド整備事業 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　0 千円】	水はけが悪く、コケ等が発生してしまっているグラウンドにおいて、安全な屋外活動を行うためグラウンドの整備工事を行います。	【3年間の事業費】 0 千円			学校教育課
20-6		城内小学校体育館改修工事 ［R4年度完了］	老朽化が進んでいる城内小学校体育館のサッシ改修工事を実施しました。				学校教育課
20-7		後山小学校改修工事 【R7年度当初予算　100,000 千円】 【 参考(前年度)　8,150 千円】	老朽化した後山小学校の長寿命化改良工事を行います。 【R7年度】令和6年度に実施した設計に基づき、長寿命化改修工事を実施します。	完了			学校教育課
				【3年間の事業費】 100,000 千円			
20-8		小学校トイレ改修事業 ［R4年度完了］	老朽化が進み衛生上も問題がある小学校のトイレについて、洋式便座への交換や床のドライ化を行い、清潔で快適なトイレを整備しました。				学校教育課
21	■	中学校大規模改造事業費 【R7年度当初予算　224,000 千円】 【 参考(前年度)　111,100 千円】	老朽化した中学校について、施設の経年劣化等の状況を確認・検討し、順次計画的に大規模改造工事を実施します。				学校教育課
				【3年間の事業費】 4,270,000 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
21-1		中学校トイレ改修工事 ［R4年度完了］	学習環境の向上を図るため、トイレの洋式化整備を行いました。				学校教育課
21-2		塩沢中学校大規模改造工事 ［R6年度完了］ 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　73,100 千円】	老朽化した塩沢中学校第一体育館の屋根改修を実施しました。	【3年間の事業費】 0 千円			学校教育課
21-3		六日町中学校第1体育館床改修事業 ［R4年度完了］	老朽化した六日町中学校第１体育館の床改修工事を実施しました。				学校教育課
21-4		大和中学校改築事業 【R7年度当初予算　224,000 千円】 （うち、ふるさと応援活用基金事業分） P68事業№14参照　（ 224,000 千円） 【 参考(前年度)　38,000 千円】	建築から50年以上が経過し、老朽化が進んだ大和中学校について、校舎の改築工事を行います。 【Ｒ7年度】実施設計業務と周辺の地質調査及び用地測量業務を実施します。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 4,270,000 千円 （うち、ふるさと応援活用基金事業分） 4,270,000 千円			
22	■	統合中学校建設事業費 ［H30年度完了］	城内、大巻、五十沢中学校を統合した八海中学校を建設し、平成30年4月に開校しました。屋外運動場、駐車場整備も含めて平成30年度にすべての工事が完了しました。				学校教育課
23	○	通学バス等運行事業費 【R7年度当初予算　129,877 千円】 【 参考(前年度)　180,697 千円】	登下校用スクールバスを運行し、遠距離通学区域にある児童生徒の通学支援と安全確保を図ります。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 389,600 千円			
24	○	国際交流及び文化・スポーツ基金事業費 ［6-5再掲事業］ 【R7年度当初予算　22,569 千円】 【 参考(前年度)　22,541 千円】	インターナショナル・ビレッジ、イングリッシュ・ビレッジを実施し、小・中学校段階から国際理解を深める機会を提供します。 また、中学生高校生の海外派遣事業を実施し、体験活動を通じてグローバル社会に対応した人材の育成を図ります。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 67,700 千円			
25	○	教育奨学金事業費 【R7年度当初予算　4,000 千円】※ 【 参考(前年度)　1,500 千円】※	経済的理由によって修学が困難な方へ学資を貸与する貸与型、経済的理由によって修学が困難な方で学業成績が優秀な方へ学資を給付する給付型の奨学金事業を実施し、地域及び社会の発展に貢献する人材の育成を図ります。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 16,500 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
26	○	要保護･準要保護児童援助事業費(小学校) 【R7年度当初予算　22,000 千円】 【 参考(前年度)　24,757 千円】	経済的理由により就学困難な児童の保護者へ、学校生活にかかる諸経費の扶助を行います。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 66,000 千円			
27	○	要保護･準要保護生徒援助事業費(中学校) 【R7年度当初予算　20,000 千円】 【 参考(前年度)　23,865 千円】	経済的理由により就学困難な生徒の保護者へ、学校生活にかかる諸経費の扶助を行います。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 60,000 千円			
28	○	小学校GIGAスクール運営費 【R7年度当初予算　237,000 千円】 【 参考(前年度)　54,031 千円】	市立学校に整備した高速ネットワークと一人一台学習用端末等を用いて、ＩＣＴを活用した学びを推進します。 【Ｒ7年度】児童の1人1端末の更新を実施します。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 347,600 千円			
29	○	中学校GIGAスクール運営費 【R7年度当初予算　122,000 千円】 【 参考(前年度)　22,527 千円】	市立学校に整備した高速ネットワークと一人一台学習用端末等を用いて、ＩＣＴを活用した学びを推進します。 【Ｒ7年度】児童の1人1端末の更新を実施します。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 157,300 千円			
30	○	特別支援学校GIGAスクール運営費 【R7年度当初予算　8,000 千円】 【 参考(前年度)　3,007 千円】	市立学校に整備した高速ネットワークと一人一台学習用端末等を用いて、ＩＣＴを活用した学びを推進します。 【Ｒ7年度】児童・生徒の1人1端末の更新を実施します。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 14,500 千円			
31	■	特別支援学校施設等整備事業費 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　1,460 千円】	学校施設の大規模な整備工事を行います。				学校教育課
				【3年間の事業費】 0 千円			
32	○	地域クラブ活動移行支援事業 【R7年度当初予算　18,560 千円】 【 参考(前年度)　事業なし　】	中学校における休日の部活動を地域へ移行するため、中学生を受入れる地域クラブへの支援を行います。	新規	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 55,600 千円			

2 教育・文化
学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち

基本施策
2 生涯学習の充実

基本方針

○ すべての市民が、生涯を通じて主体的に学習できるように、学習機会や発表の場の充実を図ります。また、活動の拠点となる「集いと交流の場」としての公民館と、「知の拠点」としての図書館など生涯学習施設の機能と連携の強化を推進します。

○ 活動の成果を地域や社会で活かす仕組みづくりとして「学びの郷　南魚沼プラン」事業の充実を図るとともに、指導者の確保・育成、主体的に活動する市民団体や公民館サークルなどの育成と活動支援を推進します。

施策

1 生涯学習機会の充実　　2 生涯学習施設の充実

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
公民館1講座当たり参加者数	173人	230人	200人
市民1人当たり図書館蔵書貸出冊数	3.9冊	3.5冊	5.2冊
市民1人当たり公民館利用回数	1.31回	1.46回	1.33回

戦略プロジェクト

Ⅳ-2

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	学びの郷事業費 【R7年度当初予算　4,846 千円】 【 参考(前年度)　4,846 千円】	ライフステージに応じた各種講座の開催、ふるさと学習の推進、自主的な学習活動を支援することで、学びによる「次世代への継承」と「地域の持続的発展」を図ります。	継続	継続	継続	社会教育課
				【3年間の事業費】 14,500 千円			
02	■	塩沢公民館大規模改修事業費 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　事業なし 】	老朽化した塩沢公民館の大規模改修を行います。		新規	継続	社会教育課
				【3年間の事業費】 295,856 千円			
03	○	図書館管理運営費 【R7年度当初予算　124,225 千円】 【 参考(前年度)　111,263 千円】	地域の情報拠点として蔵書の充実とサービスの向上に努めるとともに、市民の読書習慣の増進を図るための事業に取り組みます。	継続	継続	継続	図書センター
				【3年間の事業費】 360,200 千円			

2 教育・文化
学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち

基本施策
3 地域文化の振興

基本方針

○ 地域に残る伝統文化や史跡・文化財の計画的な保存・活用を推進します。また、次代に継承するための担い手となる人材育成を図るとともに、調査研究や映像化、デジタル化などによる記録保存を推進します。

○ 拠点となる文化施設の整備と充実を図るとともに、市民のニーズや社会情勢の変化を踏まえながら、市民主体の文化活動による活用を促進し、個性豊かな地域文化の振興を図ります。

施策

1 地域文化活動の促進　　2 地域文化・伝統の継承と活用

3 文化財の保護と活用

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
市民会館の利用者数	77,156人	65,858人	108,100人
博物館等の利用者数	30,786人	26,237人	40,400人

戦略プロジェクト

Ⅳ-2

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	文化振興補助事業費 【R7年度当初予算 280 千円】 【 参考(前年度) 2,280 千円】	文化芸能団体の活動事業費を補助し、地域の文化活動の振興を図ります。	継続	継続	継続	社会教育課
				【3年間の事業費】 800 千円			
02	○	文化施設運営委託事業費 【R7年度当初予算 81,233 千円】 【 参考(前年度) 84,973 千円】	市民会館、鈴木牧之記念館、トミオカホワイト美術館について、指定管理者制度を活用しながら適切に管理運営し、地域文化の振興に取り組みます。	継続	継続	継続	社会教育課
				【3年間の事業費】 245,300 千円			
03	■	さわらび大規模改修事業費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 事業なし 】	施設を良好な状態に維持し、長寿命化するため、コミュニティホールさわらびの改修を行います。				社会教育課
				【3年間の事業費】 0 千円			
04	■	市民会館大規模改修事業費 【R7年度当初予算 20,658 千円】 【 参考(前年度) 11,403 千円】	施設を良好な状態に維持し、長寿命化するため、順次改修を行います。 【R7年度】中央監視装置の更新を行います。	継続	継続	継続	社会教育課
				【3年間の事業費】 63,500 千円			
05	■	トミオカホワイト美術館大規模改修事業費 【R7年度当初予算 2,305 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	施設を良好な状態に維持し、長寿命化するため、順次改修を行います。 【R7年度】トイレの改修工事を行います。	新規	完了		社会教育課
				【3年間の事業費】 6,800 千円			
06	■	公文書館整備事業 [H30年度完了]	収集した歴史資料と、将来の貴重な歴史的資料となる現代の公文書を後世に継承するため、旧五十沢中学校内に資料保管室を設置しました。				社会教育課
07	○	南魚沼市郷土史編さん事業費 [R元年度完了]	『六日町史』通史編第1巻、『六日町史』民俗、『大和町の近世』、『大和町の近・現代』を発刊し、編さん事業を完了しました。				社会教育課

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
08	■	坂戸城跡整備事業費 【R7年度当初予算 4,000 千円】 【 参考(前年度) 756 千円】	坂戸城跡環境整備基本計画に基づき、坂戸城跡内堀跡浚渫工事を行い、地域に残る貴重な文化財の保護に努めます。	継続	継続	継続	社会教育課
				【3年間の事業費】 26,000 千円			
09	■	文化資料展示館大規模改修事業費 【R7年度当初予算 1,298 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	施設を良好な状態に維持し、長寿命化するため、文化資料展示館(池田記念美術館)の改修を行います。 【R7年度】エレベータの修繕を行います。	継続	継続	継続	社会教育課
				【3年間の事業費】 3,600 千円			
10	■	鈴木牧之記念館大規模改修事業費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 18,718 千円】	施設を良好な状態に維持し、長寿命化するため、順次改修を行います。				社会教育課
				【3年間の事業費】 0 千円			

2 教育・文化

学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち

基本施策
4 生涯スポーツの推進

基本方針

○ 生涯にわたって誰もがスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らし続けられるように、地域のスポーツクラブや主体的に活動する市民団体の育成・支援に努めます。

○ スポーツ施設の利用しやすい環境整備を推進し、利用促進を図ります。

○ 豊かな自然環境や地域特性を活かして、スキーをはじめとするさまざまなスポーツを通した健康づくりや、スポーツ・ツーリズムなどを介した交流拡大を図ります。また、スポーツの振興に向け、指導者の確保・育成に取り組むとともに、大会の誘致や施設のさらなる充実を図ります。

施策

1 生涯にわたってスポーツができる環境の整備　　2 総合型地域スポーツクラブの充実

3 官民連携によるスポーツ支援体制の整備

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
市民1人当たり指定管理体育施設の利用回数	5.31回	4.79回	5.38回
学校開放体育館稼働率	51.4%	51.6%	59.2%
自転車関連イベントの参加者数	1,370人	2,446人	3,400人

戦略プロジェクト

Ⅱ-3	Ⅳ-1			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	体育施設管理委託事業費 【R7年度当初予算　148,764 千円】 【 参考(前年度)　144,972 千円】	市内のスポーツ施設について、指定管理者制度を活用しながら適切に管理運営し、市民の健康増進やスポーツを通しての仲間づくり、青少年の健全育成を図ります。	継続	継続	継続	生涯スポーツ課
				【3年間の事業費】 451,000 千円			
02	■	体育施設整備事業費 【R7年度当初予算　350,000 千円】 【 参考(前年度)　2,426 千円】	令和4年3月に策定した第3次スポーツ推進計画に基づき、快適なスポーツ環境の整備を進めます。 【R7年度】二日町体育館大規模改修工事、大原運動公園野球場人口芝メンテナンスを行います。	継続	継続	継続	生涯スポーツ課
				【3年間の事業費】 520,000 千円			
03	■	ディスポート改修整備事業費 【R7年度当初予算　22,000 千円】 【 参考(前年度)　12,000 千円】	平成2年の開館から30年以上が経過し、長寿命化に向けた計画的な改修が必要となっています。今後も利用者に対して快適なサービスを提供するために順次改修工事を行います。 【R7年度】区分開閉器・高圧ケーブル・受変電設備改修、プール採暖室暖房の修繕を行います。	継続	継続	継続	生涯スポーツ課
				【3年間の事業費】 62,700 千円			
04	○	体育施設予約システム整備事業費 【R7年度当初予算　事業なし　】 【 参考(前年度)　事業なし　】	施設稼働率の向上と、体育施設を気軽に利用できる環境づくりを目指し、インターネットを利用した予約システムの導入を検討します。				生涯スポーツ課
				【3年間の事業費】 0 千円			
05	○	スポーツ推進事業費 【R7年度当初予算　12,500 千円】 【 参考(前年度)　12,500 千円】	総合型地域スポーツクラブ「南魚スポーツパラダイス」、「スポーツ＆ライフ南魚沼」の運営を補助し、市民の健康づくりの推進と生涯スポーツの充実を図ります。また自転車を活用したまちづくりを進めます。	継続	継続	継続	生涯スポーツ課
				【3年間の事業費】 37,500 千円			

2 教育・文化
学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち

基本施策
5 地域・家庭教育の充実

基本方針

○ 家庭・学校・地域が連携・協働しながら、青少年の健全育成に向けた事業や、特色ある学校づくりに取り組むとともに、関係する組織・団体及び学校で家庭教育に関する講座などの機会を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。

○ 子どもと保護者が地域の中でふれあう機会や学べる機会の拡充を図り、家庭が地域や支援機関とつながる取組を推進します。

施策

1 家庭の教育力向上の推進　　2 青少年の健全育成の推進

3 地域で子どもの成長を支える取組の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
家庭教育関係事業の参加者数	6,473人	5,255人	6,500人

戦略プロジェクト

Ⅲ-1			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	心豊かな子育て教室事業費 【R7年度当初予算 481 千円】 【 参考(前年度) 481 千円】	未就学児(0～6歳)の親子を対象に、親子の遊びの場や子育ての悩みを相談できる場を提供しています。合同学級や冬の親子サロン、各地域で行うそだち学級など様々な教室をとおして子育てを応援しています。	継続	継続	継続	社会教育課
				【3年間の事業費】 1,400 千円			
02	○	ほのぼの広場事業費 [1-3再掲事業] 【R7年度当初予算 28,301 千円】 【 参考(前年度) 28,301 千円】	主に0歳から就学前の乳幼児の親子を対象に、親子での遊び、子育て仲間同士の情報交換、育児相談などを行う「ほのぼの広場」を市内3か所に開設します。六日町会場では、小学校3年生までの親子を対象とした「ふれ愛広場」も開設します。また、遊びの教室(発達支援)、子育て支援学習会、のびのびタイム(親子ふれあい体操)を定期的に開催します。	継続	継続	継続	子育て支援課
				【3年間の事業費】 84,900 千円			
03	○	子どもを育てる地域の連携促進事業費 【R7年度当初予算 5,629 千円】 【 参考(前年度) 5,545 千円】	各地区の小・中学校において、学校・家庭・地域が連携・協力し、学校支援活動（教育に関心のある方や貴重な経験・技術をもった地域の方からの教育ボランティア）、家庭教育支援活動、放課後等支援活動を行います。 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）と一体的に推進し、地域と学校の連携を促進します。	継続	継続	継続	学校教育課・社会教育課
				【3年間の事業費】 16,800 千円			

2 教育・文化
学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち

基本施策
6 子ども・若者やその家族への支援の充実

基本方針

○ 不登校などの児童生徒や、ニート、ひきこもりの若者が、学校復帰や社会的自立ができるよう、一人ひとりの心の成長と発達を促す相談と支援を推進します。
○ 関係機関と連携し、家族の心の安定が図れるような家族支援の充実を図ります。
○ さまざまな要因による困難な事例に対して円滑な支援を継続的に行うために、子ども・若者支援地域協議会の構成機関を中心とした連携体制の充実を図ります。
○ 相談窓口や対応についてわかりやすい周知に努め、相談しやすい体制づくりを推進します。

施策

1 不登校などの子どもへの支援の充実　　2 ニートやひきこもり、不登校などの若者の自立に向けた支援の充実

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
不登校発生率	小学校0.59%中学校3.83%	小学校1.62%中学校4.59%	小学校0.54%以下中学校3.25%以下
若者相談窓口の相談件数と居場所利用者数	52件19人	45件15人	55件20人

戦略プロジェクト

Ⅲ-2			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	子ども・若者支援事業費 【R7年度当初予算　41,617 千円】 【 参考(前年度)　42,227 千円】	不登校やひきこもり、ニートなどに悩む義務教育期から39歳までの子ども・若者を対象に、子ども支援として相談、来所支援、学習支援、心の教室相談員の配置等を、若者支援として相談、居場所の提供、就労に向けた支援事業等の充実を図ります。また、課題解決に向け、保護者相談、講演会等を実施します。	継続	継続	継続	子ども・若者相談支援センター
				【3年間の事業費】 124,800 千円			
02	■	子ども・若者相談支援センター改修事業費 ［R4年度完了］	良好な相談支援環境を確保し、利用者が安全で安心した活動ができるよう、老朽化した施設の維持保全を図るため施設の外装改修を行いました。				子ども・若者相談支援センター

2 教育・文化
学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち

基本施策
7 地域に根ざした野外・環境教育の推進

基本方針

○ 地球規模での気候変動がもたらす影響を踏まえ、南魚沼市の生態系への理解を深めるため地域の自然環境について学ぶ場を充実させ、市民の意識向上を図ります。

○ 身近な自然環境の再生・保全につながる活動など、地域に根ざした市民レベルでの野外・環境教育を促進します。

○ ボランティアスタッフやジュニアリーダーなど野外・環境教育を担う人材の育成に取り組むとともに、学校や地域、活動団体、事業者などとの連携を推進することで活動を活性化させ、多くの市民が自然やふるさとの伝統にふれられる機会を増やします。

○ 重要な「地域資源としての雪」について学ぶ取組を推進します。

施策

1 野外・環境教育の推進　　2 連携活動の支援・推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
地区青少年育成会、子ども自然教室、ジュニアリーダー研修等の参加者数	3,260人	2,385人	3,300人
子ども会連絡協議会へ参加する子ども会数	29団体	26団体	40団体
環境保全や自然をテーマとしたセミナー、講座等の参加者数	84人	54人	400人

戦略プロジェクト

Ⅲ-2

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	子どもを育てる地域の連携促進事業費 [2-5再掲事業] 【R7年度当初予算　5,629 千円】 【 参考(前年度)　5,545 千円】	各地区の小・中学校において、学校・家庭・地域が連携・協力し、学校支援活動（教育に関心のある方や貴重な経験・技術をもった地域の方からの教育ボランティア）、家庭教育支援活動、放課後等支援活動を行います。 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）と一体的に推進し、地域と学校の連携を促進します。	継続	継続	継続	学校教育課・社会教育課
				【3年間の事業費】 16,800 千円			
02	○	学びの郷事業費 [2-2再掲事業] 【R7年度当初予算　4,846 千円】 【 参考(前年度)　4,846 千円】	ライフステージに応じた各種講座の開催、ふるさと学習の推進、自主的な学習活動を支援することで、学びによる「次世代への継承」と「地域の持続的発展」を図ります。	継続	継続	継続	社会教育課
				【3年間の事業費】 14,500 千円			
03	○	教育改革推進事業費 [2-1一部再掲事業] 【R7年度当初予算　3,850 千円】※ 【 参考(前年度)　3,850 千円】※	学校が主体的に創意工夫し特色を生かした教育や運営をしていくことに対して、補助金を交付する特色ある学校づくり推進事業を実施します。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 11,500 千円			

3 環境共生
豊かな自然を守り、そして共に生き、100年後に引き継いでいくまち

基本施策
1 自然環境の保全

基本方針

○ 地域の豊かな自然環境を次代に引き継げるように、自然環境の保全に努めます。
○ 森林機能の維持や地球温暖化の防止を図るため、カーボンオフセット制度などを活用し、森林の整備を推進します。

施策

1 自然環境の保全

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
市内主要河川水のBOD75%値(平均値)	0.6mg/L	0.9mg/L	1.0mg/L以下
カーボンオフセットクレジット「南魚沼銘水の森」販売量	累計487t(H27～R1)	累計1,738t(H27～R4)	累計1,000t(H27～R6)

戦略プロジェクト

Ⅰ-3

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	公害等対策事業費 [3-4再掲事業] 【R7年度当初予算 1,668 千円】 【 参考(前年度) 1,613 千円】	生活環境の保全のため、一級河川などの水質検査及び主要幹線道路(国県道)の騒音調査を行い、公害発生を防止します。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 5,000 千円			
02	○	森林資源活用事業費 [5-2再掲事業] 【R7年度当初予算 4,000 千円】 【 参考(前年度) 4,001 千円】	「育てる」から「利用する」森林整備への転換に向けた南魚沼市産木材(スギ)の利用促進と地域産業の活性化のため、利用間伐と作業道の開設を行います。 【R7年度】実施地区：モデル団地 舞子地区	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 12,000 千円			
03	○	森林整備促進事業費 [5-2再掲事業] 【R7年度当初予算 30,000 千円】 【 参考(前年度) 19,192 千円】	令和元年度から配分が始まった森林環境譲与税について、使途を定める南魚沼市森林環境譲与税活用事業計画を策定し、計画に基づいて森林整備の促進と地域材を活用した産業の活性化を目指します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 90,000 千円			
04	○	森林整備地域活動支援交付金事業費 [5-2再掲事業] 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	森林整備の実施に不可欠な所有境界の確認、林況調査、所有者の同意などの地域活動を支援します。 【R7年度】実施予定地区 未定 南魚沼市森林整備基本計画及び南魚沼市森林整備長期計画に基づき、地域活動支援交付金事業の実施候補地区等を選定し、地域活動支援を行います。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 0 千円			
05	○	カーボンオフセット制度活用事業費 【R7年度当初予算 3,663 千円】 【 参考(前年度) 4,843 千円】	新潟県J-クレジット制度に基づき実施した森林間伐によりCO2の吸収量を増加させ、創出されたCO2の吸収量を「南魚沼銘水の森クレジット」として認証を受け販売し、森林整備に活用します。 【R7年度】制度の普及拡大を目指して、新規クレジットの発行を行うためのモニタリング調査を実施します。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 3,700 千円			
06	○	多面的機能支払事業費 [5-1再掲事業] 【R7年度当初予算 320,000 千円】 【 参考(前年度) 321,148 千円】	農地や農業施設などの保全･管理のための、草刈りや水路の土砂上げ等の地域共同活動の取組を支援します(農地維持・資源向上)。 また、農道や水路周りに植栽等をすることにより景観を良くする活動や、農村環境保全活動に対する地域住民等の関心を高めるための広報活動を支援します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 960,000 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07	○	南魚沼産材で家づくり事業費 [5-2再掲事業] 【R7年度当初予算　5,000 千円】 【 参考(前年度)　5,000 千円】	南魚沼市産木材(スギ)を利用して建築する住宅への支援（補助上限50万）を行い、地場産木材の利用促進と地域林業及び木材産業の活性化を図ります。木造住宅建築を促進することで木の伐採～木材搬出・利用～再造林までの循環が生まれ新たな森が育まれます。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 15,000 千円			
08	○	民有林保育事業費 [5-2再掲事業] 【R7年度当初予算　3,000 千円】 【 参考(前年度)　10,808 千円】	民有林の除間伐などに要する経費に対して補助金を交付し、林業振興の推進を図るとともに森林保全、ひいては地球温暖化防止に寄与することを目指します。今後は、保育から積極的な利用期への推進を行います。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 9,000 千円			
09	○	分収造林事業費 [5-2再掲事業] 【R7年度当初予算　8,000 千円】 【 参考(前年度)　8,000 千円】	市有林及び市行造林地について、植栽下刈、枝打、除間伐を実施し、森林保育に努めます。今後は、森林資源活用に向けた事業へと段階的にシフトします。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 24,000 千円			
10	○	ふるさと里山再生整備緊急5か年事業費 [5-2再掲事業] 【R7年度当初予算　50,000 千円】 【 参考(前年度)　50,000 千円】	集落周辺の荒廃した里山林の整備を行うことにより、手入れ不足、気象害、有害鳥獣、病害虫等により、本来里山林が持つ、公益的機能(水源かん養、土砂流出、崩落防止等)が低下した荒廃里山林の再生や保全に必要な整備を行います。これにより、南魚沼市の水と緑の豊かな里山林の再生を目指します。森林環境譲与税を充当しています。 里山林の再生に向けた緊急対策と位置づけて、令和３年度からの５か年事業として実施します。	継続	完了		農林課
				【3年間の事業費】 100,000 千円			
11	○	河川管理費 [6-3再掲事業] 【R7年度当初予算　30,000 千円】 【 参考(前年度)　29,535 千円】	県から委託を受けている一級河川の除草と、市の管理する準用河川等の修繕工事などにより、河川を適切に管理し、自然環境の保全と河川の増水による被害の軽減を図ります。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 90,000 千円			

3 環境共生
豊かな自然を守り、そして共に生き、100年後に引き継いでいくまち

基本施策
2 循環型社会の推進

基本方針

○ ３Ｒを基本理念として、市民、事業者、行政がそれぞれの責任と役割を自覚し、一体となってごみの減量化と再資源化を図り、環境負荷の少ない循環型社会の構築を推進します。
○ 効率的なごみ処理体制を構築するため、魚沼市、湯沢町とともに、ごみ処理施設の広域化に向けた取組を推進します。
○ 関係機関との連携や市民との協働により、ごみ不法投棄の撲滅を目指します。
○ 食品ロス削減計画の策定を推進します。

施策

1 循環型社会のための体制の確立　　2 ごみ減量化とリサイクルの推進
3 効率的なごみ処理体制の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
家庭系ごみの1人当たり排出量	651g/日	617g/日	610g/日以下
事業系ごみの1人当たり排出量	454g/日	380g/日	409g/日以下
リサイクル率	13.1%	11.6%	17.2%

戦略プロジェクト

Ⅳ-3

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	ごみ減量化推進事業費 【R7年度当初予算　1,868 千円】 【 参考(前年度)　1,868 千円】	ごみ減量化の推進に向けて、子ども会などによる資源物回収への補助、電気式生ごみ処理機購入補助、行政区によるステーション施設整備補助を行います。 また、食品ロスの削減に向けて、おいしい食べきり運動の推進やごみ排出調査を実施します。	継続	継続	継続	廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 5,600 千円			
02	○	ごみ処理費 【R7年度当初予算　197,000 千円】 【 参考(前年度)　185,435 千円】	家庭ごみの収集運搬、市公共施設から排出される一般廃棄物の収集運搬を行います。また、地域や関係機関と連携した不法投棄への対応を実施します。	継続	継続	継続	廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 651,000 千円			
03	○	魚沼市ごみ処理委託事業費 【R7年度当初予算　266,995 千円】 【 参考(前年度)　208,700 千円】	大和地域から排出されるごみ処理を魚沼市(エコプラント魚沼)に委託します。 【Ｒ7年度】エコプラント魚沼の老朽化対策として、計画的な補修工事を実施します。	継続	継続	継続	廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 744,900 千円			
04	○	可燃ごみ処理施設運営費 【R7年度当初予算　550,000 千円】 【 参考(前年度)　519,653 千円】	年間を通じて安定的なごみ処理ができるよう、適正な施設運営を行います。また、発生する溶融スラグはコンクリート二次製品の材料及び埋戻材として利用します。 【Ｒ7年度】飛灰のリサイクルについて調査と検討を行います。	継続	継続	継続	廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 1,650,000 千円			
05	■	可燃ごみ処理施設整備事業費 【R7年度当初予算　540,000 千円】 【 参考(前年度)　617,541 千円】	年間を通じて安定的なごみ処理ができるよう、主要施設の点検業務や定期修繕等を実施します。 【Ｒ7年度】処理施設の延命化を図るため、引続き設備や機器の修繕と更新を行います。	継続	継続	継続	廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 1,490,000 千円			
06	○	不燃ごみ処理施設運営費 【R7年度当初予算　145,000 千円】 【 参考(前年度)　123,788 千円】	年間を通じて安定的なごみ処理ができるよう、適正な管理運営を行います。一部業務を障がい者の就労支援施設に委託し、就労機会の確保を継続します。 【Ｒ7年度】桝形山最終処分場の埋立終了に伴い、不燃ごみ残渣（陶磁器、ガラスくず等）の最終処分を民間事業者へ委託します。また、これら残渣についてもリサイクルの可能性について検討し、リサイクル優先の取組を拡大します。	継続	継続	継続	廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 435,000 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07	■	不燃ごみ処理施設整備事業費 【R7年度当初予算　48,150 千円】 【 参考(前年度)　65,939 千円】	年度ごとに定められた定期修繕を行うとともに、重点的に整備が必要な箇所について順次更新します。 【R7年度】処理施設の延命化を図るため、引続き設備の更新や定期修繕を行います。	継続	継続	継続	廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 150,400 千円			
08	○	ごみ埋立処分施設運営費 【R7年度当初予算　15,949 千円】 【 参考(前年度)　136,497 千円】	桝形山処分場、宮処分場の安全確認のため、水質管理や薬品処理を行い円滑な管理運営に努めます。新堀新田最終処分場、清水最終処分場の管理と環境基準のモニタリングを行います。 また、最終処分場の有効利用について検討を進めます。 【R7年度】各処分場の効率的な維持管理に向けた調査、検討を実施します。	継続	継続	継続	廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 47,500 千円			
09	■	し尿等受入施設建設事業費 ［H29年度完了］	し尿処理施設の老朽化に伴い、県の公共下水道処理施設へ直接投入するためのし尿等受入施設を建設しました。				廃棄物対策課
10	○	し尿等受入施設運営費 【R7年度当初予算　80,321 千円】 【 参考(前年度)　79,351 千円】	下水道公社への業務委託及び県流域処理場での処理料を負担することで、年間を通じて安定的・効率的な運営を行います。	継続	継続	継続	廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 243,300 千円			
11	■	し尿等受入施設整備事業費 【R7年度当初予算　事業なし　】 【 参考(前年度)　事業なし　】	主要機器の定期修繕、改修を行います。施設が比較的新しいため、当分の間は実施予定はありません。				廃棄物対策課
				【3年間の事業費】 0 千円			
12	■	広域ごみ処理施設建設事業費 【R7年度当初予算　210,000 千円】 【 参考(前年度)　146,073 千円】	経年により現施設が老朽化したため、湯沢町と一市一町で新ごみ処理施設の整備を進めます。 【R7年度】旧し尿処理施設等解体工事を行います。	継続	継続	継続	新ごみ処理施設整備室
				【3年間の事業費】 7,810,000 千円			

3 環境共生
豊かな自然を守り、そして共に生き、100年後に引き継いでいくまち

基本施策
3 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換

基本方針

○ 市民、事業者、行政の協働により省エネ意識の向上に努めます。
○ 雪氷冷熱・地下熱・バイオマス資源など、クリーンな新エネルギーに対する市民や事業者の理解を深めるとともに、地域の特性に合った新エネルギーの有効活用を促進します。
○ 豊かな自然と風土などの地域特性を活かした省エネルギー、新エネルギーの活用方策についての調査・研究を推進します。

施策

1 省エネルギーの推進　　2 新エネルギーの活用
3 バイオマス利活用の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
ペレットストーブ、ペレットボイラー、薪ストーブの新規設置台数	9台(R1)	59台（R2～R4）	70台(R2～R6)

戦略プロジェクト

Ⅰ-3	Ⅳ-3			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	新エネルギー等普及促進事業費 ［R5年度完了］	新エネルギー等普及促進事業はR5年度で終了し、新エネルギー政策推進事業へ移行しました。				環境交通課
02	○	雪資源活用事業費 【R7年度当初予算　15,270 千円】 【 参考(前年度)　19,322 千円】	地域固有の再生可能エネルギー「雪氷熱利用」を公共施設の省エネ化に活用するため、雪の冷房効果を分析、可視化するDXの導入や貯雪性能の高い保温シートの開発を民間企業や大学等と連携して実施します。また、清水貯雪場の雪を活用し、市内外でのＰＲ活動を進めて、雪国ブランディングの構築や市民に向けたシビックプライドの醸成を推進します。 【Ｒ7年度】雪冷熱冷房施設の効果分析DX導入、貯雪性能技術開発支援を行います。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 22,800 千円			
03	○	バイオマス利活用事業費 ［R5年度完了］	令和６年度からバイオマス利活用事業は、新エネルギー政策推進事業費において取り組むこととしました。				環境交通課
04	○	カーボンオフセット制度活用事業費 ［3-1再掲事業］ 【R7年度当初予算　3,663 千円】 【 参考(前年度)　4,843 千円】	新潟県Ｊ-クレジット制度に基づき実施した森林間伐によりＣＯ2の吸収量を増加させ、創出されたＣＯ2の吸収量を「南魚沼銘水の森クレジット」として認証を受け販売し、森林整備に活用します。 【Ｒ7年度】制度の普及拡大を目指して、新規クレジットの発行を行うためのモニタリング調査を実施します。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 3,700 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
05	■	新エネルギー政策推進事業費 【R7年度当初予算　159,000 千円】 【　参考(前年度)　73,676 千円】	市民、事業者、市等の各主体が取組むべき具体的内容を定めた「地球温暖化対策実行計画」を策定し、国が進める2050年カーボンニュートラルの実現に向けた2030年50%温室効果ガス削減を達成するための支援体制の構築を図り、市自らが再生可能エネルギーを推進する施策を展開するとともに、市民への啓発を図ります。 【R7年度】 ・新エネルギーの活用として、住宅への太陽光発電設備の設置の費用に対する補助制度を継続し、市内における普及促進を図ります。 ・省エネルギーの推進として、省エネルギー性能の高い家電の買い換え費用の一部補助を行う支援制度を創設します。 ・当市の気候に適応する住宅の高気密・高断熱化に対する一部補助を行う支援制度を創設します。 ・市内で導入可能性のある再生エネルギーを利用した設備に対する費用の一部補助を行う施制度を創設します。 ・市内における電気自動車の普及促進を図るため、充電設備の設置費用の一部を補助する支援制度を創設します。	継続	継続	継続 【3年間の事業費】 383,600　千円	環境交通課
06	■	学校施設太陽光発電導入事業費 【R7年度当初予算　0 千円】 【　参考(前年度)　0 千円】	市内小中学校への太陽光発電設備の導入を検討します。			新規 【3年間の事業費】 100,000　千円	学校教育課

3 環境共生
豊かな自然を守り、そして共に生き、100年後に引き継いでいくまち

基本施策
4 生活環境の向上

基本方針

○ 観測体制の充実、事業者への指導・監督体制の強化を図るとともに、市民に対する啓発や指導を推進し、さまざまな公害の発生防止に努めます。

○ 重点区域における地盤沈下進行状況の監視体制を強化するとともに、地下水に依存しない消融雪方策についての調査・研究を推進します。

○ 環境の美化などに取り組む市民の主体的な活動を促進するとともに、野焼きの抑制、ごみの不法投棄や空き缶などのポイ捨て防止を推進します。

施策

1 安全な生活環境の向上　　2 地盤沈下対策の継続・強化

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
地盤沈下量(過去5年間の平均値)	1.22cm	1.38cm	2cm以内

戦略プロジェクト

Ⅳ-3

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	公害等対策事業費 【R7年度当初予算　1,668 千円】 【 参考(前年度)　1,613 千円】	生活環境の保全のため、一級河川などの水質検査及び主要幹線道路(国県道)の騒音調査を行い、公害発生を防止します。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 5,000 千円			
02	○	地盤沈下対策事業費 【R7年度当初予算　12,783 千円】 【 参考(前年度)　12,530 千円】	地盤沈下及び地下水位、地盤収縮の状況を監視するとともに、地盤沈下対策に有効な施策の研究を進めます。また、公共施設の降雪検知器を順次、間欠運転機能付きに交換し、地下水利用の適正化を推進します。Ｒ４からＲ７までの本事業により64施設の交換が完了し、従来から設置されていた施設も含め、継続使用する公共施設の降雪検知器が間欠運転機能付きになります。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 33,300 千円			
03	○	克雪住宅推進事業費 [4-3再掲事業] 【R7年度当初予算　5,580 千円】 【 参考(前年度)　5,580 千円】	屋根雪処理に伴う過重な作業や危険の軽減、消雪用地下水の過剰汲上げによる地盤沈下の抑制、住宅密集地区の道路交通障害の解消のために、克雪化(融雪式又は耐雪式)の費用補助等を行い、地下水採取規制の変更後も引き続き冬期間の住生活環境の改善を図ります。 また、屋根雪除雪時の転落事故を防ぐため、命綱を固定するための金物（命綱固定アンカー）の設置工事などに対して補助金を交付します。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 16,700 千円			
04	○	有害鳥獣対策事業費 【R7年度当初予算　8,314 千円】 【 参考(前年度)　8,949 千円】	有害鳥獣による農林水産業被害や人身被害を防ぐため、有害鳥獣被害対策実施隊を設置して被害防止活動に取り組み、隊員の技術の維持向上に向けた支援や捕獲の効率化を行い、活動の強化を図ります。また、クマの移動経路となる河川敷の藪刈払いを実施し、中心市街地への出没防止に取り組みます。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 24,100 千円			

4 都市基盤
住みたい、住み続けたいまち

基本施策
1 計画的な土地利用の推進

基本方針

○ 市民の理解と協力を得るとともに、地域住民の意向を確認しながら、豊かな自然環境を活かした良好なまちなみ景観と計画的な市街地の形成を推進します。

○ 特に市街地について、適正な土地利用のための誘導により、秩序ある快適な都市環境の構築を促すとともに、災害や雪に強く、ひとにやさしい都市基盤整備を推進します。

○ 国土調査事業について、市内中心市街地において計画的に調査を実施し、着実な推進を図ります。

施策

1 都市計画の推進　　2 国土調査の推進

3 都市公園の活用と充実　　4 まちなみ景観の形成

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
国土調査(地籍調査)実施済面積	115.42km2	116.87km²	117.06km2

戦略プロジェクト

Ⅳ-4

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	都市計画調査事業費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	災害や雪に強く、ひとにやさしい都市基盤整備を推進するため、立地適正化計画に基づき用途地域などの見直しを進めます。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 10,500 千円			
02	○	国土調査事業費 【R7年度当初予算 49,700 千円】 【 参考(前年度) 48,503 千円】	土地境界のトラブル未然防止、課税の適正化・公平性などに資する国土調査事業を計画的に推進します。 【R7年度】第13計画区(六日町④)の原図作成・地積測定・閲覧、第14計画区(六日町⑤)の現地調査・測量、第15計画区(六日町⑥)の調査図素図等作成を実施します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 164,100 千円			
03	○	都市公園長寿命化計画策定事業費 【R7年度当初予算 事業なし 】 【 参考(前年度) 事業なし 】	都市公園の計画的な維持管理を図るため、長寿命化計画を策定します。				都市計画課
				【3年間の事業費】 0 千円			
04	■	大原運動公園整備事業 【R7年度当初予算 事業なし 千円】 【 参考(前年度) 事業なし 千円】	大原運動公園整備検討委員会で策定された基本構想に基づくとともに、市民のニーズを踏まえながら、運動公園の機能充実に向けた施設整備を進めます。				生涯スポーツ課・都市計画課
				【3年間の事業費】 0 千円			
05	■	銭淵公園整備事業費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	銭淵公園のトイレ改築工事を行い、今まで冬期閉鎖していたトイレを通年で利用できるようにしました。また、障がい者対応の多機能トイレを設置し、利便性の向上を図りました。 当初予定していた駐車場拡張工事は、伝世館の活用方法や、駐車場の使用状況を見ながら、整備の有無を判断します。				都市計画課
				【3年間の事業費】 0 千円			
06	○	景観計画策定事業費 [R6年度完了]	地域のまちなみと調和した景観づくりを進めるため、南魚沼市景観計画を策定しました。				都市計画課

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07	○	斎場管理費 【R7年度当初予算　55,110 千円】 【 参考(前年度)　50,730 千円】	斎場職員と情報共有し、運営マニュアルや予約システムの活用などにより、利用者に配慮したサービスの質の向上を図るとともに、適正な施設の維持管理に努めます。また、経年により劣化した主要設備の計画的な更新を行います。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 156,200 千円			
08	■	塩沢交流広場整備事業費 【R7年度当初予算　25,000 千円】 （うち、ふるさと応援活用基金事業分） P69事業№.18参照　（ 25,000 千円） 【 参考(前年度)　80,000 千円】	利用需要のない牧之茶屋と維持修繕隣接トイレの拡張、多機能トイレの通年使用を図り。つむぎ通り整備事業に合わせて景観に調和した広いトイレに改築し、大型バスで訪れる観光客や障がい者等に対応できるように整備を行います。 【Ｒ7年度】旧トイレ跡地の外構整備を行います。	完了			都市計画課
				【3年間の事業費】 25,000 千円 （うち、ふるさと応援活用基金事業分） 25,000 千円			

4 都市基盤
住みたい、住み続けたいまち

基本施策
2 ひとにやさしいまちづくり

基本方針

○ 「地域公共交通網形成計画」に基づき、誰もが安心して住み続けられる持続可能な公共交通体系の構築に取り組みます。
○ 大規模災害など不測の事態が発生した場合に備え、安全に避難できる道路の整備など、基幹道路の代替性を確保した、災害に強い道路ネットワークの整備を図ります。
○ 交通バリアフリー法に基づき、歩行者や自転車が安全で快適に通行できる、人にやさしい道づくりと維持管理を推進します。
○ 通学路交通安全プログラムに位置づけられた通学路を主体として、生活空間における交通安全対策のため、歩道などの整備を推進します。
○ 交通事故のない社会を目指し、市民の交通安全意識の向上を図るとともに、交通事故が起きにくい環境を整備します。
○ 冬期の道路交通とともに、積雪時の歩行者の安全を確保するため、地域住民との協働による除雪活動を推進します。

施策

1 公共交通体系の確保・維持
2 円滑な道路網の整備
3 災害や雪に強い道づくり
4 道路施設の計画的な修繕
5 交通安全対策の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
公共交通(バス)の利用者数	273,743人	206,570人	269,000人
交通事故件数(過去5年間の平均事故件数)	107件	71件	96件以下
市民バス利用人数	43,568人	42,321人	37,000人
大和スマートICの出入交通量(日平均)	1,030台	非公表	1,100台

戦略プロジェクト				
Ⅰ-3	Ⅳ-4			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	市民バス運行事業費 【R7年度当初予算 105,400 千円】 【 参考(前年度) 86,647 千円】	市内の交通空白地域に公共交通サービスを提供するため、市民バス及びデマンド型市民バスを運行します。 【R7年度】路線バスが廃止となった野田・大崎コースの運行を行います。 また、運転手確保に要する費用の一部を補助する制度を新たに開始します。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 316,200 千円			
02	○	路線バス運行事業費 【R7年度当初予算 68,500 千円】 【 参考(前年度) 83,443 千円】	路線バスの維持は市民生活に不可欠なため、国県の補助金を活用しながら、運行の継続を支援します。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 205,500 千円			
03	■	街路新設改良事業費 【R7年度当初予算 14,300 千円】 【 参考(前年度) 71,000 千円】	都市計画決定された道路(街路)の改良を行い、市民生活の利便性の向上を図ります。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 244,600 千円			
04	■	沿道整備街路事業費 【R7年度当初予算 228,000 千円】 【 参考(前年度) 246,149 千円】	住民と協働したまちづくりを進めるため、県の街路事業に合わせ沿道整備街路事業を実施し、塩沢中央通り線の事業を進めます。 【R7年度】土地区画整理区域内の用地買収、物件補償を行います。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 428,600 千円			
05	■	道路新設改良事業費 【R7年度当初予算 349,000 千円】 【 参考(前年度) 316,790 千円】	地域交通を担う幹線市道や市民生活を支える生活道路の改良、歩道設置などの整備を行い、道路の安全性と利便性の向上を図ります。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 493,400 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
06	■	消融雪施設新設改良事業費 【R7年度当初予算 55,000 千円】 【 参考(前年度) 8,000 千円】	機械除雪実施が困難な路線において冬期間の交通確保のため、消雪パイプの布設を行い、雪に強い道路環境を整えます。 消雪工事（さく井）と消雪パイプを新設します。 【R7】旭町上町線ほか、消融雪施設の新設を行います。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 185,000 千円			
07	■	流雪溝整備事業費 【R7年度当初予算 10,000 千円】 【 参考(前年度) 14,707 千円】	老朽化しているポンプ場の受電設備や機械設備の改修工事を調査しながら順次行います。 整備の必要性は、多様化している地域ニーズを把握し、地下水の規制緩和などを考慮して検討します。 【R7年度】取水に係る水門および導水路の鋼製ゲート改修工事を行います。	継続	完了		都市計画課
				【3年間の事業費】 30,000 千円			
08	■	道路橋りょう維持補修事業費 【R7年度当初予算 349,500 千円】 【 参考(前年度) 411,720 千円】	市道や橋りょうの修繕と更新、維持管理を計画的に行い、安全な道路環境の確保を図ります。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 1,106,900 千円			
09	■	消融雪施設維持管理事業費 【R7年度当初予算 255,000 千円】 【 参考(前年度) 207,933 千円】	老朽化により機能が低下した消雪用井戸や消雪パイプ等の修繕と更新、維持管理を計画的に行います。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 765,000 千円			
10	■	除雪機械整備事業費 【R7年度当初予算 131,000 千円】 【 参考(前年度) 116,000 千円】	効果的な機械除雪と除雪経費の削減を図るため、順次除雪機械の更新を行います。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 531,000 千円			
11	■	交通安全交付金事業費 【R7年度当初予算 11,000 千円】 【 参考(前年度) 10,000 千円】	国の交付金を財源として、区画線(道路の白線)引きやガードレール設置などの交通安全施設整備や維持管理を行い、交通事故の防止に努めます。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 33,000 千円			
12	○	交通安全対策費 【R7年度当初予算 4,421 千円】 【 参考(前年度) 4,421 千円】	交通安全に対する意識の向上を図るため、交通安全教室を(公財)南魚沼交通安全協会に委託して実施します。また、高齢者の運転免許証の自主返納を促進し、高齢者加害事故の減少に取り組みます。返納者には報奨品として市民バスなどの回数乗車券又はタクシー乗車券を配布し、返納の動機づけを行うとともに公共交通機関の利用促進を図ります。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 13,200 千円			
13	■	六日町駅自由通路・シンボル施設管理費 【R7年度当初予算 42,760 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	六日町駅自由通路の老朽化した外壁のうち、未施工の鉄道敷直上の区画について、JRの改修計画に合わせた施工を行います。 また、融雪設備の老朽化が進み、線路上への落雪の危険性が高まっているため、融雪施設の更新工事を行います。 【R7年度】鉄道敷直上の外壁改修工事をJRに委託します。	新規	完了		都市計画課
				【3年間の事業費】 92,700 千円			
14	■	浦佐駅前広場管理費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 事業なし 】	浦佐駅の東口広場の老朽化したトイレについて、排水不全などの衛生的な管理負担が多いため解体撤去を行います。		完了		都市計画課
				【3年間の事業費】 6,000 千円			

【 参 考 】4)「都市基盤」の基本施策(2)「ひとにやさしいまちづくり」の事業において実施する主要な路線の整備等で、その整備費等の総額が5億円を超えるものを、各事業から抜き出して以下に掲載します。

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R6	R7	R8	担当課
03	■	街路新設改良事業費 樋渡東西線道路改良事業 ［R3年度完了］	全体延長　L=360m 国道17号と塩沢駅西地区を連結する道路で、上越線ガード下の狭小区間の解消により、通学児童の安全の確保や緊急車両の通行確保が図られました。				都市計画課
03	■	街路新設改良事業費 関五十嵐線道路改良事業	全体延長　L=190m(橋梁１基) 石打小学校周辺の道路整備を行い、通学路の交通の安全確保を図ります。 【R7年度】地質調査ほか	継続	継続	継続	建設課
03	■	街路新設改良事業費 新沖上線道路改良事業	全体延長L=440m 六日町小学校と総合支援学校周辺の道路整備を行い、通学路の交通の安全確保を図ります。 【R7年度】調査・設計ほか	継続	継続	継続	建設課
05	■	道路新設改良事業費 小木六古川線道路改良事業 ［H29年度完了］	全体延長L=1150m 小木六地内から中野地内までを結ぶ道路で、歩道を整備(車道の拡幅含む)することにより、通学路の交通の安全確保を図りました。				建設課
05	■	道路新設改良事業費 旭町上町線道路改良事業	全体延長L=345m 六日町地内において道路拡幅による通学路の安全確保を図ります。(寺裏雨水幹線改修含む) 【R7年度】改良工事	継続	継続	継続	建設課

4 都市基盤
住みたい、住み続けたいまち

基本施策
3 住環境の整備

基本方針

○ 公営住宅について、現行の「公営住宅長寿命化計画」を見直し、改修や統廃合によって耐震性や耐火性、克雪などの機能を強化するとともに、施設の長寿命化と住環境の向上を図ります。

○ 一般住宅について、耐震化や克雪化、アスベストの飛散防止、空き家の利活用などを促進し、環境問題に配慮するとともに安全で安心して生活できる住環境整備を推進します。

施策

1 住みやすい住環境の提供　　2 雪への対処機能強化

3 空き家等の活用促進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
克雪屋根改修補助件数	累計32件(H27～R1)	累計23件(R2～R5)	累計35件(R2～R6)
子育て世帯のリフォーム補助件数	110件(R1)	累計500件(R2～R5)	累計650件(R2～R6)

戦略プロジェクト

Ⅱ-1

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	■	市営住宅総合改善事業費 【R7年度当初予算　49,971 千円】 【 参考(前年度)　97,980 千円】	令和2年度改定の公営住宅長寿命化計画に基づき、改修による施設の長寿命化や住宅団地の統廃合を進めます。 【R7年度】市営余川住宅2号棟の改善事業に係る設計業務、市営新耐震RC住棟年次改修工事、樋渡住宅の改修工事等を行います。	継続	継続	継続	福祉課
				【3年間の事業費】 210,100 千円			
02	○	木造住宅耐震診断事業費 【R7年度当初予算　500 千円】 【 参考(前年度)　500 千円】	新耐震設計基準(昭和56年6月施行)以前に建築された木造住宅は、現行法の耐震性が満たされておらず、大地震などによる倒壊の危険があります。そのため、対象となる建物の耐震診断に要する費用の全額を補助し、安心して暮らせる住環境の形成を図ります。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 1,500 千円			
03	○	木造住宅耐震改修支援事業費 【R7年度当初予算　3,650 千円】 【 参考(前年度)　3,650 千円】	予期せぬ大地震等に備えて、新耐震設計基準以前の既存木造建築物について、耐震補強改修および除却工事費用の一部を助成します。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 10,900 千円			
04	○	民間建築物アスベスト除去等支援事業費 【R7年度当初予算　1,250 千円】 【 参考(前年度)　1,250 千円】	アスベストの飛散を防止し安心して生活できるように、民間建築物のアスベスト含有調査及び除去工事に対して費用の一部を補助します。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 3,700 千円			
05	○	個人住宅リフォーム事業費 【R7年度当初予算　60,000 千円】 【 参考(前年度)　60,000 千円】	市民の住環境の向上と子育て世帯の定住促進を図るため、市内の施工業者が行う住宅のリフォーム工事に対して補助金を交付します。中古住宅リフォーム事業では、空き家対策や移住・定住促進を図ります。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 180,000 千円			
06	○	克雪住宅推進事業費 【R7年度当初予算　5,580 千円】 【 参考(前年度)　5,580 千円】	屋根雪処理に伴う過重な作業や危険の軽減、消雪用地下水の過剰汲上げによる地盤沈下の抑制、住宅密集地区の道路交通障害の解消のために、克雪化(融雪式又は耐雪式)の費用補助等を行い、地下水採取規制の変更後も引き続き冬期間の住生活環境の改善を図ります。 また、屋根雪除雪時の転落事故を防ぐため、命綱を固定するための金物（命綱固定アンカー）の設置工事などに対して補助金を交付します。	継続	継続	継続	都市計画課
				【3年間の事業費】 16,700 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07	■	流雪溝整備事業費 ［4-2再掲事業］ 【R7年度当初予算　10,000 千円】 【 参考(前年度)　14,707 千円】	老朽化しているポンプ場の受電設備や機械設備の改修工事を調査しながら順次行います。 整備の必要性は、多様化している地域ニーズを把握し、地下水の規制緩和などを考慮して検討します。 【Ｒ7年度】取水に係る水門及び導水路の鋼製ゲート改修工事を行います。	継続	完了		都市計画課
				【3年間の事業費】 30,000 千円			

4 都市基盤
住みたい、住み続けたいまち

基本施策
4 上下水道の整備

基本方針

○ 人口減少を見据え、上下水道施設の効率化を目指し、施設の縮小や統合及び広域化・共同化計画の検討を進め、さらなる経費の削減を図ります。

○ 豪雨や地震などの災害発生時にも安定した給水や汚水処理を継続するための施設整備や更新を計画的に行い、衛生的で快適な生活環境の維持と、公共用水域の水質の保全を推進します。

施策

1 安定した持続可能な水道事業の推進　　2 豊かな水環境をはぐくむ汚水処理の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
上水道有収率	80.7%	79.4%	85%
配水管の耐震化率	8.3%	10.1%	13%
下水道水洗化率	91.4%	93.5%	93%

戦略プロジェクト

Ⅳ-4

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01 上水	■	上水道施設更新事業 【R7年度当初予算　392,500 千円】 【 参考(前年度)　538,500 千円】	浄水場の維持修繕費及び浄水場外の配水施設の更新費用と災害時に拠点となる重要給水施設の耐震化を財政状況を考慮しながら実施します。 【R7年度】舞子減圧槽改修工事及び藤原配水池浄水設備工事を引き続き実施します。	継続	継続	継続	水道課
				【3年間の事業費】795,500 千円			
02 上水	■	上水道管路新設更新事業 【R7年度当初予算　228,500 千円】 【 参考(前年度)　128,500 千円】	管路新設事業及び老朽管更新事業、病院や避難所など重要施設の災害時給水確保のため管路の耐震化に取り組みます。 【R7年度】耐震化交付金重要給水施設配水管事業により、指定避難所の三用小学校、後山小学校及び大崎保育園に係る配水管の耐震化を引き続き実施します。	継続	継続	継続	水道課
				【3年間の事業費】665,500 千円			
03 上水	■	水源整備事業 【R7年度当初予算　160,000 千円】 【 参考(前年度)　190,000 千円】	旧水道水源や湧水の見直しを行い、市民の負担が軽減できるよう合理的・効率的な水道水源構築を安定的に確立します。 【R7年度】非常用水源（塩沢地域）詳細設計を基に施設整備を実施します。	継続	継続	継続	水道課
				【3年間の事業費】590,000 千円			
04	○	上水道事業対策費 【R7年度当初予算　48,482 千円】 【 参考(前年度)　37,851 千円】	統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に要する企業債元利償還金の一部、水道料金改定に伴う激変緩和による軽減措置(R5～R9)、消火栓移設に係る経費について一般会計から繰出しを行います。	継続	継続	継続	水道課
				【3年間の事業費】145,400 千円			
05 下水	■	公共下水道事業 【R7年度当初予算　426,932 千円】 【 参考(前年度)　589,031 千円】	経費節減に向け、施設の統合(広域化)の協議を進めます。ストックマネジメント計画に基づく管路施設の更新を行います。 【R7年度】マンホール蓋の更新を実施します。マンホールポンプ設備の更新を実施します。	継続	継続	継続	下水道課
				【3年間の事業費】1,768,700 千円			
06 下水	■	公共下水道事業(浸水対策) 【R7年度当初予算　18,000 千円】 【 参考(前年度)　56,000 千円】	雨水幹線の整備により、六日町市街地の浸水被害解消を図ります。	継続	継続	継続	下水道課
				【3年間の事業費】66,000 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07 下水	■	特定環境保全公共下水道事業 【R7年度当初予算　182,500 千円】 【 参考(前年度)　191,969 千円】	五箇処理区の効率的な汚水処理方針を検討します。ストックマネジメント計画に基づく管路施設の更新を行います。 【R7年度】マンホール蓋の更新を実施します。汚水管渠等の整備を行います。	継続	継続	継続	下水道課
				【3年間の事業費】 676,500 千円			
08 下水	■	農業集落排水事業 【R7年度当初予算　4,000 千円】 【 参考(前年度)　9,000 千円】	栃窪処理区の維持管理適正化計画を定め、効率的な汚水処理方針を検討します。 【R7年度】維持管理適正化計画を基に栃窪処理区の事業計画を策定します。	継続	継続	継続	下水道課
				【3年間の事業費】 17,000 千円			
09 下水	■	浄化槽市町村整備推進事業 【R7年度当初予算　30,000 千円】 【 参考(前年度)　30,000 千円】	下水道整備が困難な地域について合併浄化槽の導入を進め水質保全を図ります。 【R7年度】合併浄化槽11基の設置を行います。	継続	継続	継続	下水道課
				【3年間の事業費】 90,000 千円			
10 下水	○	企業会計移行事業 ［H30年度完了］	下水道事業の経営基盤強化や財政マネジメントの向上に取り組むため、総務省から示されたロードマップに基づき、公営企業会計への移行作業を進め、完了しました。				下水道課
11 下水	○	下水道接続促進事業 ［H30年度完了］	下水道接続工事費用の一部補助を行い、接続促進を図りました。下水道面整備の完了により補助制度を終了しました。				下水道課
12	○	下水道事業対策費 【R7年度当初予算　1,230,000 千円】 【 参考(前年度)　1,230,000 千円】	下水道整備に係る借入金の元利償還金及び建設改良費並びに汚水を処理するために要した費用の一部と、雨水を処理するために要した費用について、一般会計から繰出しを行います。	継続	継続	継続	下水道課
				【3年間の事業費】 3,694,400 千円			

5 産業振興
豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち

基本施策
1 農業の振興

基本方針

○ 南魚沼産コシヒカリを農業振興の中心に据え、農業基盤の整備、農地の集積化と生産組織化・法人化を推進するとともに、次代の農業を担う人材の育成、意欲的な中規模農家の支援を図ります。

○ 関係団体などと連携し、南魚沼産コシヒカリや園芸作物などの特産品について、地域特性を活かした作物・品種の研究を進めるとともに農業経営の複合化・多角化を目指します。

○ 地域特性を活かした個性ある農畜産物や水産物の生産などを支援し、先人達のつくり上げた産地のイメージをさらに高めることを目指します。

施策

1 農地集積化の推進
2 特産品の販売促進と6次産業化の支援
3 畜産業と水産業の支援
4 農業基盤の整備
5 農業の担い手育成支援
6 農業の多面的機能発揮の促進
7 食の安全の推進
8 鳥獣被害防止対策の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
経営耕地面積7ha以上の稲作農家数	141戸	152戸	148戸
新規就農者数	12人	16人	毎年9人以上

戦略プロジェクト

Ⅰ-1	Ⅰ-2			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	農地中間管理事業費 [R6年度完了]	農地の有効利用や農業経営の効率化を図るため、後継者がいない農地や分散した農地をまとめたいときなど機構を活用し中心経営体への農地の集積・集約化を進めます。その機構業務の一部を受託して事業の促進を図ります。				農林課
02	○	商工業振興補助事業費 [5-4再掲事業] 【R7年度当初予算 41,450 千円】 【 参考(前年度) 56,728 千円】	商工会の運営費、国際大学と連携した地域産業活性化、社員研修、起業・創業、新商品開発に対する各種補助を行い事業者等を支援することで、商工業の振興を図ります。	継続	継続	継続	商工観光課 【3年間の事業費】124,300 千円
03	○	家畜指導診療所費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 7,580 千円】	地域畜産農家の経営安定のため各種業務を効果的かつ効率的に実施します。また、家畜伝染病予防事業の実施により畜産農家の損害防止に努めます。 令和6年度診療所閉所。令和7年度からはNOSAI新潟による新診療体制。各年度2,155千円程度負担金。	継続	継続	継続	農林課 【3年間の事業費】0 千円
04	■	県営事業負担金 【R7年度当初予算 193,241 千円】 【 参考(前年度) 62,370 千円】	農業生産の基盤強化のため、県が行う基幹農業施設(用排水路、県営農道)や農業基盤等の整備補修(基盤整備)について事業費の一部を負担します。平成27年度から施設の老朽化に対応した農村地域防災減災事業を実施しています。 【R7年度】18地区（上田第1、中之島第1、仙石、五城水管理、西部幹線小栗山、八色原、八色原2期、下出浦、山崎、寺尾、栃窪、岩之下、吉里、大月1期、大月2期、泉盛寺開田、荒金堂島新田、山口)で県営土地改良事業(かんがい排水事業等)を実施します。	継続	継続	継続	農林課 【3年間の事業費】514,600 千円
05	■	土地改良事業費 【R7年度当初予算 38,696 千円】 【 参考(前年度) 53,162 千円】	土地改良区が実施する土地改良事業に対して国・県とともに補助を行い、農業基盤の整備を図ります。				農林課 【3年間の事業費】107,500 千円

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
05-1		土地改良事業補助金 【R7年度当初予算 36,757 千円】 【 参考(前年度) 48,502 千円】	土地改良区で実施する農道整備や基盤整備に要する事業費の一部について、県の助成を受けながら実施します。 【R7年度】団体営基盤整備促進事業への補助(台上、一之沢)を行います。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 104,600 千円			
05-2		土地改良事業償還補助金 【R7年度当初予算 1,939 千円】 【 参考(前年度) 4,660 千円】	土地改良区で実施した農道などの整備に要した借入金について、令和8年度の償還完了まで補助を行います。	継続	完了		農林課
				【3年間の事業費】 2,800 千円			
05-3		土地改良事業費(単費) [R4年度完了]	三国川ダムに向かう県道落合・六日町線が、H23災害時に県道横断部暗渠排水の横断面不足による湛水が続き、通行止めとなったため、対策として畔地地内の赤坂排水路の改修工事を行いました。				農林課
06	■	揚水設備等長寿命化事業費 [R3年度完了]	揚水機場からの農業用水パイプラインを改修し、設備の長寿命化を図りました。				農林課
07	○	水利施設管理強化事業費 【R7年度当初予算 5,030 千円】 【 参考(前年度) 3,758 千円】	農業以外にも環境資源や洪水防止などの多面的機能を果たしている国営農業水利施設を管理する土地改良区に対して、管理費の一部を国・県・市で助成します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 15,000 千円			
08	■	地方創生道整備事業費(農道) 【R7年度当初予算 10,000 千円】 【 参考(前年度) 30,000 千円】	国の交付金事業を活用して市道や林道と一体となって農道の改良を行うことにより、道路ネットワークを構築し、農業・林業の振興を図ります。 【R7年度】農道五十沢線 舗装・改良工事(継続)	完了			農林課
				【3年間の事業費】 10,000 千円			
09	○	経営構造対策施設整備事業費 【R7年度当初予算 19,650 千円】 【 参考(前年度) 6,650 千円】	JAみなみ魚沼が行ったカントリーエレベーターと精米施設整備事業の償還金の補助を行います。 【R7年度】すいか選果施設の更新と小玉すいか選果施設を新設する事業費の償還金の補助を行います。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 58,900 千円			
10	○	農業振興対策補助事業費 【R7年度当初予算 4,397 千円】 【 参考(前年度) 1,286,097 千円】	農業施設や農業機械の導入、安全・安心米づくり推進協議会など農業振興対策事業及び新規就農者を支援するための補助金を交付します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 10,100 千円			
11	○	水田農業構造改革対策推進事業費 【R7年度当初予算 13,567 千円】 【 参考(前年度) 13,567 千円】	生産者や集荷業者と一体となり需要に応じた米生産を推進するための支援を行うとともに、南魚沼産コシヒカリの品質向上や複合営農の推進を図りながら地域農業が継続・発展できるよう効果的な支援を実施します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 40,700 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
12	○	多面的機能支払事業費 【R7年度当初予算　320,000 千円】 【 参考(前年度)　321,148 千円】	農地や農業施設などの保全･管理のための、草刈りや水路の土砂上げ等の地域共同活動の取組を支援します(農地維持・資源向上)。 また、農道や水路周りに植栽等をすることにより景観を良くする活動や、農村環境保全活動に対する地域住民等の関心を高めるための広報活動を支援します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 960,000 千円			
13	○	中山間地域等直接支払事業費 【R7年度当初予算　84,785 千円】 【 参考(前年度)　84,785 千円】	中山間地における農業の持つ多面的機能の維持、増進を図るため自律的かつ継続的な農業生産活動を行う集落に支援を行います（協定45組織）。令和7年度から令和11年度までを第6期対策として取り組みます。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 248,700 千円			
14	○	環境保全型農業直接支援対策事業費 【R7年度当初予算　4,622 千円】 【 参考(前年度)　4,622 千円】	化学肥料・化学合成農薬を原則５割以上低減する取組と合わせて行う、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 13,800 千円			
15	○	有害鳥獣対策事業費 ［3-4再掲事業］ 【R7年度当初予算　8,314 千円】 【 参考(前年度)　8,949 千円】	有害鳥獣による農林水産業被害や人身被害を防ぐため、有害鳥獣被害対策実施隊を設置して被害防止活動に取り組み、隊員の技術の維持向上に向けた支援や捕獲の効率化を行い、活動の強化を図ります。また、クマの移動経路となる河川敷の藪刈払いを実施し、中心市街地への出没防止に取り組みます。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 24,100 千円			
16	○	農林業有害鳥獣被害対策事業費 【R7年度当初予算　10,858 千円】 【 参考(前年度)　10,858 千円】	農林業有害鳥獣被害対策組織や猟友会等と協働し、被害を受けにくい環境づくりや、はこわな、電気柵の設置などによる鳥獣被害の防止対策を推進します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 32,500 千円			
17	■	畜産振興費 ［R5年度完了］	南魚沼広域有機センターで使用しているショベルローダ等は老朽化が進んでいたため、車両入替等、更新を行いました。				農林課
18	■	地元施工農業用渇水対策施設整備事業補助金 【R7年度当初予算　30,000 千円】 【 参考(前年度)　事業なし　】	今後、地球温暖化の影響で頻発化することが予想れる農業用水の渇水対策として、地元が実施する農業用井戸の掘削や用水の反復利用施設の建設に対して支援を行い、渇水に強い農業を目指します。	新規	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 90,000 千円			

5 産業振興
豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち

基本施策
2 林業の振興

基本方針

○ 森林資源の利用促進のため、「新たな森林管理システム」を活用し、山林の所有者境界の明確化、施業の集約化や路網の整備、高性能林業機械の普及を図ることにより、より効率的な作業体制の構築を促進します。

○ 南魚沼産の木材の利用拡大を図るため、供給体制のサプライチェーン化(供給連鎖)による安定した需給体制の構築を促進します。また、エネルギーの地域循環に向けて木質バイオマスエネルギーの利用を促進する環境整備に取り組みます。

○ 国や県の補助金などを活用し、さまざまなニーズに対応可能な先進的施設や機械の整備を支援することにより、次世代林業再生基盤づくりを進めます。また、意欲ある林業事業体のレベルアップを図るなど、人材育成に努めます。

○ 新たに創設された森林環境譲与税を活用した里山再生などの林業振興を推進します。

施策

1 森林資源の活用と林業基盤の整備
2 林地の保全と機能誘導
3 治山事業の推進
4 森林環境譲与税を活用した林業の振興

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
間伐材の利用量	718t	225.6t	433t
地元産木材の利用量	2,470m3	10,653m3	4,000m3
高齢森林の主伐・植栽箇所数	0か所	2か所	3か所

戦略プロジェクト

Ⅰ-3

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	森林資源活用事業費 【R7年度当初予算 4,000 千円】 【 参考(前年度) 4,001 千円】	「育てる」から「利用する」森林整備への転換に向けた南魚沼市産木材(スギ)の利用促進と地域産業の活性化のため、利用間伐と作業道の開設を行います。 【R7年度】実施地区：モデル団地 舞子地区	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 12,000 千円			
02	○	森林整備地域活動支援交付金事業費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	森林整備の実施に不可欠な所有境界の確認、林況調査、所有者の同意などの地域活動を支援します。 【R7年度】実施予定地区 未定 南魚沼市森林整備基本計画及び南魚沼市森林整備長期計画に基づき、地域活動支援交付金事業の実施候補地区等を選定し、地域活動支援を行います。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 0 千円			
03	■	林道開設事業費(大崎水尾線) [H29年度完了]	大崎水尾線(全体事業延長L=4,208m)の開設事業を完了しました。				農林課
04	○	林道橋点検事業費 [R元年度完了]	林野庁インフラ長寿命化計画に基づく、林道橋の長寿命化に向けた点検が完了しました。				農林課
05	■	安全・快適な林道再生事業費 【R7年度当初予算 9,000 千円】 【 参考(前年度) 9,000 千円】	広域的な林道を中心に崩壊箇所などを改良する林道再生事業を実施します。 【R7年度】林道市野江線、林道宮野下線の改修工事を行います。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 27,000 千円			
06	○	バイオマス利活用事業費 [R5年度完了]	令和6年度からバイオマス利活用事業は、新エネルギー政策推進事業費において取り組むこととしました。				環境交通課

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07	○	南魚沼産材で家づくり事業費 【R7年度当初予算 5,000 千円】 【 参考(前年度) 5,000 千円】	南魚沼市産木材(スギ)を利用して建築する住宅への支援（補助上限50万）を行い、地場産木材の利用促進と地域林業及び木材産業の活性化を図ります。木造住宅建築を促進することで木の伐採～木材搬出・利用～再造林までの循環が生まれ新たな森が育まれます。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 15,000 千円			
08	○	民有林保育事業費 【R7年度当初予算 3,000 千円】 【 参考(前年度) 10,808 千円】	民有林の除間伐などに要する経費に対して補助金を交付し、林業振興の推進を図るとともに森林保全、ひいては地球温暖化防止に寄与することを目指します。今後は、保育から積極的な利用期への推進を行います。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 9,000 千円			
09	○	分収造林事業費 【R7年度当初予算 8,000 千円】 【 参考(前年度) 8,000 千円】	市有林及び市行造林地について、植栽下刈、枝打、除間伐を実施し、森林保育に努めます。今後は、森林資源活用に向けた事業へと段階的にシフトします。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 24,000 千円			
10	○	森林整備促進事業費 【R7年度当初予算 30,000 千円】 【 参考(前年度) 19,192 千円】	令和元年度から配分が始まった森林環境譲与税について、使途を定める南魚沼市森林環境譲与税活用事業計画を策定し、計画に基づいて森林整備の促進と地域材を活用した産業の活性化を目指します。	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 90,000 千円			
11	○	ふるさと里山再生整備緊急5か年事業費 【R7年度当初予算 50,000 千円】 【 参考(前年度) 50,000 千円】	集落周辺の荒廃した里山林の整備を行うことにより、手入れ不足、気象害、有害鳥獣、病害虫等により、本来里山林が持つ、公益的機能(水源かん養、土砂流出、崩落防止等)が低下した荒廃里山林の再生や保全に必要な整備を行います。これにより、南魚沼市の水と緑の豊かな里山林の再生を目指します。森林環境譲与税を充当しています。 里山林の再生に向けた緊急対策と位置づけて、令和3年度からの5か年事業として実施します。	継続	完了		農林課
				【3年間の事業費】 100,000 千円			
12	■	地方創生道整備事業費(林道) 【R7年度当初予算 52,000 千円】 【 参考(前年度) 18,000 千円】	国の交付金事業を活用して市道や農道と一体となって林道の改良を行うことにより、道路ネットワークを構築し、農業・林業の振興を図ります。 【R7年度】 林道永松線 法面修繕工事 林道ヤゴ平線 ヤゴ平橋架替 詳細設計	継続	継続	継続	農林課
				【3年間の事業費】 142,000 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
13	■	新エネルギー政策推進事業費 [3-3一部再掲事業] 【R7年度当初予算　1,600 千円】※ 【 参考(前年度)　1,600 千円】※	市民、事業者、市等の各主体が取組むべき具体的内容を定めた「地球温暖化対策実行計画」を策定し、国が進める2050年カーボンニュートラルの実現に向けた2030年50%温室効果ガス削減を達成するための支援体制の構築を図り、市自らが再生可能エネルギーを推進する施策を展開するとともに、市民への啓発を図ります。 【R7年度】 バイオマス利活用の推進として、木質バイオマスストーブ等設置補助制度（ペレット・薪）により、木材の利用拡大や機器の普及促進を図ります。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 1,600 千円			

5 産業振興
豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち

基本施策
3 観光の振興

基本方針

○ 地域固有の文化、歴史、風土、暮らしをストーリーによってつなぐことで独自の「雪国ブランド」へ醸成させ、四季を通じた観光振興への活用を推進します。

○ 国内観光客のニーズの多様化への対応や長期滞在型の外国人観光客を呼び込むため、関係する民間機関や団体と連携し、受入体制の整備や移動環境の利便性向上を図ります。

○ 国内外からの観光客誘致に向け、官民が連携して情報発信や販売戦略の共有化に取り組むとともに、広域連携による観光プロモーションを推進します。

○ 地域資源のブランディングや販路開拓を進めるため、多様化するメディア媒体を効果的・効率的に用いた情報発信を推進します。

○ 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により打撃を受けた観光産業の維持・再活性化を図るため、飲食業や宿泊業をはじめとする観光関連事業者への経済的な支援を推進します。また、長期的に安定した観光誘客を推進するため、インバウンドの回復に備えながら、国内からの観光誘客の強化に取り組みます。

施策

1 地域資源を活かした四季観光の推進
2 国際観光の推進
3 情報発信の強化
4 コンテンツ・ツーリズムの推進
5 食によるまちおこしの推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
観光入込客数	3,259,430人	2,930,730人	4,000,000人
観光交流拠点の入込客数	449,080人	476,150人	540,000人
食によるまちおこしイベントの市外からのエントリー数	6,620人	3,935人	7,000人
外国人の延べ宿泊者数	4,421人	14,577人	30,000人

戦略プロジェクト

Ⅱ-3

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	観光振興事業費 【R7年度当初予算 76,128 千円】 【 参考(前年度) 74,305 千円】	観光ＰＲ業務などの委託を行うとともに、観光イベント等に補助金を交付し、観光誘客を推進します。 データマーケティングによる観光地域づくりとスキーを主体とした観光に加えグリーンシーズンにも力を入れ、四季を通じた観光ＰＲに努めます。 また、他市町村との連携による広域観光連携事業を進めます。	継続	継続	継続	商工観光課
				【3年間の事業費】 226,700 千円			
02	■	観光施設整備事業費 【R7年度当初予算 事業なし 】 【 参考(前年度) 事業なし 】	観光施設や観光案内看板の整備を図り、観光地としての機能の向上に努めます。				商工観光課
				【3年間の事業費】 0 千円			
03	■	八海山麓観光施設整備事業費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 1,000 千円】	索道設備などの状況を踏まえ、スキー場の今後の運営形態を検討します。また、サイクリングターミナルと勤労者体育館は、地元集落又は民間等への譲渡も視野に入れ、将来にわたって継続できる営業形態の検討やグリーンシーズンの利用強化などの活性化を図ります。				商工観光課
				【3年間の事業費】 0 千円			
04	○	道の駅南魚沼管理運営費 【R7年度当初予算 37,685 千円】 【 参考(前年度) 38,345 千円】	道の駅南魚沼の公共部門の管理運営と商業部門(直売所)の管理委託を行います。	継続	継続	継続	商工観光課
				【3年間の事業費】 113,000 千円			
05	■	観光拠点情報・交流施設費 [R元年度完了]	新幹線駅である浦佐駅を起点とした観光案内サービスと外国人観光客を含めた誘客を推進するため、魚沼市と共同でＪＲ浦佐駅に広域観光案内所「ＭＹＵ」を開設しました。				商工観光課

5 産業振興
豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち

基本施策
4 商工業の振興

基本方針

○ 地域の生活基盤やコミュニケーションの場としての商店や商店街機能の充実を促すとともに、固有の気候風土から生み出される地域資源の魅力を活かした、消費者から選ばれる特色のある商品やサービスの創出を支援します。また、空き店舗や空き地を、起業や創業の場として後継者の発掘や人材育成に活用するとともに、周辺施設との有機的な連動により商店街の賑わいを創出し、地域経済の活性化を図ります。

○ 製品の開発や現場の生産工程などで、IoT(Internet of Things)やAI(人工知能)といった新しい技術の活用や更なるデジタル化など、多様な働き方に合わせた環境整備を積極的に推進するとともに、人材不足の解消や製品の高付加価値化、急速な社会変動に対するリスク管理に取り組む事業活動への支援を推進します。

○ 産官学金連携による産業支援を推進するとともに、コンピューターや通信技術などを活用した先駆的な情報サービスの分野や新たな産業の創出に積極的に取り組み、若者やUIJターン希望者の雇用の場や新たなビジネス機会の創出を図ります。また、これによって、地域の稼ぐ力を強化し、地域産業の持続可能な発展と安定した雇用の実現を図ります。

施策

1 商工業の活性化　　2 産業の育成支援

3 産官学金連携による産業支援

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
商工会組織率	53.4%	54.7%	53.4%
認定創業者数	5人	8人	10人
雪室製品を返礼品としたふるさと納税寄付額	294,404千円	904,527千円	430,000千円

戦略プロジェクト

Ⅰ-1	Ⅰ-3			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	商工業振興補助事業費 【R7年度当初予算 41,450 千円】 【 参考(前年度) 56,728 千円】	商工会の運営費、国際大学と連携した地域産業活性化、社員研修、起業・創業、新商品開発に対する各種補助を行い事業者等を支援することで、商工業の振興を図ります。	継続	継続	継続	商工観光課
				【3年間の事業費】 124,300 千円			
02	○	地域振興補助事業費 【R7年度当初予算 6,860 千円】 【 参考(前年度) 6,860 千円】	伝統的地場産業振興事業として、塩沢織物工業協同組合への補助を行い、産地の振興事業の促進を図ります。また、市民まつりなどの実行委員会へ負担金を支出し、事業を支援します。	継続	継続	継続	商工観光課
				【3年間の事業費】 20,500 千円			
03	○	中小企業金融制度事業費 【R7年度当初予算 103,400 千円】 【 参考(前年度) 120,246 千円】	地域商工業の育成、中小企業経営の基盤強化のため、地方産業育成資金への預託や、各種資金借入に係る信用保証料の補給などを行います。	継続	継続	継続	商工観光課
				【3年間の事業費】 246,200 千円			
04	○	グローバルITパーク推進事業費 [R2年度完了]	将来的なＩＴ企業の誘致や優秀な人材の確保、雇用の創出を目指し、グローバルＩＴパーク構想を推進してきました。体制が整ったことから、推進体制整備のための事業としては完了とします。				商工観光課
05	○	イノベーション推進事業費 【R7年度当初予算 180,969 千円】 【 参考(前年度) 161,339 千円】	市内における起業家の育成、新規事業の創出、市内産品のブランド化を目指し、人材育成及びリゾートオフィス田園都市構想松井基金を活用したセミナーの開催や国内外先進地での調査研究、資金調達、販路開拓等への補助、また事業創発拠点の管理委託を行います。	継続	継続	継続	商工観光課
				【3年間の事業費】 542,900 千円			

5 産業振興
豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち

基本施策
5 雇用の促進

基本方針

○ 労働者の技術・技能の向上や未来の雇用創出に繋がる事業者育成を図るとともに、より多くの求職者が希望する就業ができるような雇用の創出を目指します。
○ 若者やUIJターン就職希望者それぞれの意欲と能力を踏まえた的確な職業紹介と、職業能力習得の必要性についての広報や、習得機会の提供などの支援を推進し、本人の希望と雇用ニーズの不一致や不適合の解消を図ります。
○ 若者やUIJターン就職希望者が安心して働き続けられる雇用環境の確保と、多様な業種・業態の企業の立地や集積を目指します。
○ 若者や女性の技術・技能の向上を図り、希望する就職の実現を支援します。
○ 若者向け職場体験、インターンシップの機会充実を図るとともに、市内企業の認知度向上への取組を支援し、市内企業への就職を促進します。

施策

1 職業能力の向上と雇用の場の確保　　2 若者やUIJターン就職希望者支援
3 若者・女性への就職支援

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
雇用促進奨励金の対象従業員数	50人	0人	52人
女性の労働力率	52.0%(H27)	54.1%	59%
昼夜間人口比率	100.3%(H27)	100.6%	100.5%
中小企業研修受講料補助交付金の受講生数	33人	39人	50人

戦略プロジェクト

Ⅰ-1	Ⅰ-3	Ⅰ-4	Ⅲ-3	Ⅲ-4

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	雇用対策事業費 【R7年度当初予算 14,969 千円】 【 参考(前年度) 14,739 千円】	南魚沼職業能力開発運営協会に管理運営を委託している南魚沼市職業訓練共同施設において、労働者及び求職者の能力開発を促進し雇用の安定を図ります。また、地元就業促進のため、ハローワーク、魚沼市、湯沢町と連携し就職ガイダンスなどの事業を実施します。 また、人手不足解消、多様な働き方の推進のため、デジタル技術を活用した労働環境提供・効率化事業を実施します。	継続	継続	継続	商工観光課
				【3年間の事業費】 45,500 千円			
02	○	企業対策事業費 【R7年度当初予算 2,670 千円】 【 参考(前年度) 2,618 千円】	市内への企業立地と地元雇用促進のため、立地企業に対し投下固定資産への支援や新規地元雇用者への奨励金の充実、また用地取得費への助成金制度などの優遇措置による支援を行います。 また、オープンネームによる事業承継マッチングサイトを開設し、後継者のいない事業者を支援します。	継続	継続	継続	商工観光課
				【3年間の事業費】 61,800 千円			
03	○	雇用創出支援事業費 【R7年度当初予算 240,000 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	雇用の創出・確保を行う民間事業者への支援策として、ふるさと財団(一般財団法人 地域総合整備財団)の「ふるさと融資」を活用し、事業資金の一部を無利子で融資します。 【R7年度】雇用創出、農業人材の確保、鳥獣被害対策を目的とした事業への融資を行います。	完了			企画政策課
				【3年間の事業費】 240,000 千円			
04	○	男女共同参画推進費 [6-6再掲事業] 【R7年度当初予算 1,693 千円】 【 参考(前年度) 1,693 千円】	男女共同参画社会の実現に向け、研修会やセミナーを開催するなど、市民への啓発活動に取り組みます。また、男女が共に働きやすい環境づくりのため、新潟県ハッピーパートナー企業に登録している企業を対象に、女性活躍の推進を目的とした職場環境改善の取組と男性の育児休暇取得に対して経費補助等の支援を行います。	継続	継続	継続	企画政策課
				【3年間の事業費】 5,000 千円			
05	○	看護師修学資金貸与事業費 [1-2再掲事業] 【R7年度当初予算 19,200 千円】 【 参考(前年度) 16,800 千円】	市内の医療機関等で看護師として働くことを目指し、市内の養成機関に進学、在学する者を支援することにより、若者の定住を促進するとともに、医療従事者の確保による地域医療の充実を図ります。毎年10名以内に最大で48か月間、月額5万円を貸与し、卒業後60か月の市内勤務で返済を全額免除します。	継続	継続	継続	保健課
				【3年間の事業費】 67,800 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
06	○	建設業人材確保支援事業費 【R7年度当初予算　2,000 千円】 【 参考(前年度)　2,000 千円】	入札参加申込等で必要となる資格技術者（技術士等）の確保は、資格取得に係る多額の経費と必要経験年数等の要件を満たす必要があり、困難な状況です。資格取得に係る必要な費用を補助金制度で支援し、将来に渡る公共工事関連事業者の安定的な人材の確保と公共事業全体の品質向上を目指します。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 4,000 千円			

6 行財政改革・市民参画
世界にひらく市民が誇りをもてるまち

基本施策
1 行財政運営の効率化

基本方針

○ 限られた資源で最大限の効果を生み出すため、「選択」と「集中」による行財政改革を推進し、効果的で効率的な市政運営に取り組むとともに、民間活力との積極的な協働を図り、持続可能な行財政基盤の構築を目指します。

○ 多様化する市民ニーズに的確に対応するため、「行政改革大綱」に基づく行財政改革の推進に努めるとともに、組織機構の再編や職員の資質向上を図ります。

○ わかりやすい情報提供により市民との合意形成を図りながら、計画的な行財政運営を推進します。

施策

1 効率的・効果的な行財政運営　　2 行政評価の活用

3 職員の資質向上　　4 民間活力との協働

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
財政健全化指標(実質公債費比率)	14.0%	11.8%	現状維持(14.0%以下)
財政健全化指標(将来負担比率)	106.5%	－	現状維持(106.5%以下)
公共施設の民営化数	累計1か所(H27～R1)	累計0か所(R2～5)	累計3か所(R2～R6)

戦略プロジェクト

Ⅳ-6

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	■	庁舎整備事業費 【R7年度当初予算 45,514 千円】 【 参考(前年度) 11,766 千円】	効率的な行政運営を目指すとともに、市民が利用しやすい庁舎の整備を進めます。 【R7年度】本庁舎のエレベーターの更新、塩沢庁舎の空調設備の改修、大和庁舎車庫棟及び塩沢庁舎車庫棟の電気設備更新を行います。	継続	継続	継続	財政課
				【3年間の事業費】 70,400 千円			
02	■	庁舎等建物除却事業費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 26,985 千円】	公共施設等総合管理計画に基づき、不要となった建物の解体除却を行います。	継続	継続	継続	財政課
				【3年間の事業費】 56,500 千円			
03	■	地域開発センター及び公会堂改修費 【R7年度当初予算 37,500 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した施設については今後の利用計画を検討し、必要な改修を行います。 【R7年度】辻又地区センターの改修に向けた実施設計と薮神まほろばの消雪井戸の改修工事を行います。	継続	継続	継続	財政課
				【3年間の事業費】 167,500 千円			
04	■	本庁舎総合窓口設置事業費 ［H28年度完了］	本庁舎の窓口業務における市民の利便性の向上と事務の効率化を図るため、総合窓口の設置を行いました。				市民課
05	■	本庁舎駐車場整備事業 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	本庁舎の駐車場不足に対応するため、新たな駐車場整備の検討を行います。				財政課
				【3年間の事業費】 0 千円			
06	■	公用車更新整備事業費 【R7年度当初予算 25,500 千円】 【 参考(前年度) 38,000 千円】	公用車の適正な配備に努め、老朽化した車両の更新整備を計画的に進めていきます。 【R7年度】マイクロバス1台を含め、更新時期を迎えた車両を買い換えます。	継続	継続	継続	財政課
				【3年間の事業費】 66,500 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07	■	普通財産管理 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　0 千円】	普通財産利活用のため、接道のための用地の確保を検討します。		新規	継続	財政課
				【3年間の事業費】 0 千円			

6 行財政改革・市民参画
世界にひらく市民が誇りをもてるまち

基本施策
2 協働のまちづくり

基本方針

○ まちづくりを積極的に推進する市民主体の活動を支援し、市民と行政が地域の課題について認識を共有するとともに、連携・協働で取り組む体制づくりを推進します。

○ 自治組織をはじめとする地域コミュニティの活性化、地域で主導的役割を担うNPOやボランティア組織などへの活動を支援し、地域住民の主体的活動を促進します。

施策

1 市民と行政の協働によるまちづくりのための体制確保　　2 市民が自ら考え実践する地域づくり活動の充実

3 市民による幅広いボランティア活動の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
市政懇談会への参加者数	243人	578人	500人
地域づくり協議会への地域活性化支援事業交付金年額	40,300千円	45,847千円	48,000千円

戦略プロジェクト

Ⅳ-5

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	行政区事業費 【R7年度当初予算　73,924 千円】 【 参考(前年度)　72,969 千円】	行政区の業務や自主活動に対して行政区交付金を交付し、自治組織の振興を支援します。 また、各集落の集会所施設の新築や大規模改修、耐震診断への助成を行います。 【R7年度】集会所整備の助成内容を拡充します。	継続	継続	継続	総務課
				【3年間の事業費】 221,700 千円			
02	○	コミュニティ助成事業費 【R7年度当初予算　4,100 千円】 【 参考(前年度)　23,300 千円】	宝くじの収益金によるコミュニティ活動支援助成を活用して、行政区等の施設整備、防犯灯設置事業や子ども神輿購入事業などを支援します。	継続	継続	継続	企画政策課
				【3年間の事業費】 19,100 千円			
03	○	地域コミュニティ活性化事業費 【R7年度当初予算　86,339 千円】 【 参考(前年度)　78,038 千円】	市内12地区の地域づくり協議会に権限と予算(交付金)を配分し、市民主体のまちづくり活動を支援します。地域に根差した事業として定着を図るため、それぞれの地域の特性を生かした事業が実施できるよう、交付金の活用方法を地域が主体的に協議し、決定できるなど、柔軟な制度としています。 ・活性化支援事業交付金：地域の課題解決や活性化を目的とした事業、地域を超えた広域連携の推進に対する交付金 ・拠点支援交付金：地域住民の活動拠点である、地区センターの管理運営及び事務に対する交付金	継続	継続	継続	U&Iときめき課
				【3年間の事業費】 255,000 千円			
04	○	地域活動支援事業費 【R7年度当初予算　62,230 千円】 【 参考(前年度)　47,406 千円】	都市圏の企業人材を地域活性化起業人として派遣いただくとともに、若者を地域おこし協力隊員として一定の期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かした地域産業活性化に資する業務を実施することにより、地域独自の魅力や価値の向上や関係人口の拡大を図ります。また、ふるさとワーキングホリデー事業等を実施することで大学生を中心とした若者との交流を促進し、関係人口の構築を図るとともに、継続して地域にかかわれるような取組を進めます。 また、地域活性化及び文化振興のため雪国青年会議所が実施する映画祭事業を助成します。	継続	継続	継続	U&Iときめき課
				【3年間の事業費】 220,000 千円			

6 行財政改革・市民参画
世界にひらく市民が誇りをもてるまち

基本施策
3 災害に強い安全と安心のまちづくり

基本方針

○ 災害時の避難場所の整備や機能強化、感染症対策を図るとともに、安全な避難経路についての情報共有の仕組みづくりを推進します。また、緊急時の情報伝達体制の強化を図ります。
○ 安全・安心な地域づくりを推進するとともに、市民の生命と財産を災害・犯罪から守ることを最優先に、災害発生時の被害軽減と犯罪被害の未然防止のための体制強化を図ります。
○ 防災マップを活用し、災害時の対応知識や避難場所、危険箇所などの周知に努め、市民一人ひとりの防災意識の高揚と、自助・共助による地域防災力の向上を目指します。
○ 救急救命のための応急手当の方法について普及を促進し、救急車が到着する前からの効果的な手当による救命率・社会復帰率の向上を目指します。また、救急救命士の資質向上に努めます。
○ 住宅用火災警報器の設置を促進し、火災の早期発見と被害の軽減を図ります。
○ 水害や土砂災害などを防止するため、管理者である国、県と連携し、治水や砂防の整備を推進します。

施策

1 防災体制の強化
2 防犯、消防・救急体制の強化
3 避難所等の整備推進
4 砂防施設整備の促進
5 水害防止施設整備の促進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
救急講習受講者数	累計21,606人(H27～R1)	累計29,304人(H27～R5)	累計45,000人(H27～R6)
防災情報メール登録率	12.0%	13.9%	18.0%

戦略プロジェクト

Ⅳ-4

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	防災対策事業費 【R7年度当初予算 33,052 千円】 【 参考(前年度) 2,835 千円】	地域防災力の向上と防災意識の高揚を目的として、市民参加型の「南魚沼市民総合防災訓練」を実施するともとに、職員の災害対応力向上のため、災害対策本部設置訓練を実施します。 【R7年度】災害時の衛生的なトイレの提供に備えるため、ウォシュレットトイレ5基（うち1基はユニバーサルトイレ）を備えたトイレトラックを導入します。	継続	継続	継続	総務課
				【3年間の事業費】 41,900 千円			
02	○	自主防災組織強化育成事業 【R7年度当初予算 3,600 千円】 【 参考(前年度) 8,000 千円】	自主防災組織が防災用資機材を購入する際、その一部を補助することを通じて、『共助』の中核を担う自主防災組織の自発的かつ組織的な活動を支援します。	継続	継続	継続	総務課
				【3年間の事業費】 7,600 千円			
03	■	防災行政無線更新事業費 [R2年度完了]	緊急時の情報収集及び伝達のための防災行政無線の更新が完了しました。				総務課
04	○	緊急時情報伝達事業費 【R7年度当初予算 12,457 千円】 【 参考(前年度) 12,036 千円】	緊急時における市民への情報伝達体制を整備するため、全国瞬時警報システム（J-ALERT）とSNSの連携システムの効果的な運用や緊急告知ラジオの割引販売による普及促進、メール配信システムの利用拡大を図ります。固定電話への緊急情報自動架電システムを利用し、情報弱者対策を行います。	継続	継続	継続	総務課
				【3年間の事業費】 27,300 千円			
05	○	消防団運営費 【R7年度当初予算 143,000 千円】 【 参考(前年度) 140,900 千円】	地域の実情に精通し、地域の消防力の維持、向上に大きく貢献している消防団活動の支援を行います。 【R7年度】消防団員が災害時に活動する際の安全装備の充実を図るため、防火服の整備を開始します。	継続	継続	継続	消防本部
				【3年間の事業費】 427,000 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
06	■	消防団施設整備事業費 【R7年度当初予算　55,900 千円】 【 参考(前年度)　59,490 千円】	消防団配備の軽積載車などの更新を行い、非常時に備えます。 【R7年度】軽積載車8台を更新配備します。	継続	継続	継続	消防本部
				【3年間の事業費】 107,200 千円			
07	■	消防車両整備事業費 【R7年度当初予算　227,000 千円】 【 参考(前年度)　89,990 千円】	消防車両、救急車両を計画的に更新し、緊急時の消防体制の強化を図ります。 【R7年度】本署に高規格救急車を、湯沢署にはしご車を更新配備します。	継続	継続	継続	消防本部
				【3年間の事業費】 370,500 千円			
08	■	消防庁舎整備費 ［R6年度完了］	消防庁舎の長寿命化に向けた改修として、湯沢消防署の消雪井戸と消雪パイプを敷設更新を行いました。				消防本部
09	■	訓練塔整備事業費 ［R元年度完了］	老朽化した訓練塔を更新整備することにより訓練の質の向上を図ります。令和元年度の大和分署訓練塔の建設工事で整備が完了しました。				消防本部
10	■	消防水利整備事業費 【R7年度当初予算　0 千円】 【 参考(前年度)　0 千円】	消防水利基準に基づき、災害時の消防水利機能の確保が必要な施設や地域に、防火水槽を整備します。 急を要する整備計画はないため、状況に応じて実施箇所を検討します。				消防本部
				【3年間の事業費】 0 千円			
11	■	消防通信指令装置更新事業費 【R7年度当初予算　25,839 千円】 【 参考(前年度)　事業なし　】	迅速かつ適切に119番の通報に対応するため、携帯無線機、無線基地局・通信指令装置の更新を行います。 【R7年度】消防救急デジタル無線の更新を行います。	新規	継続	完了	消防本部
				【3年間の事業費】 264,100 千円			
12	■	指定避難所耐震化事業 【R7年度当初予算　事業なし　】 【 参考(前年度)　事業なし　】	地震災害の指定避難所について見直しを図り、必要に応じた耐震診断や耐震補強工事を行います。				総務課
				【3年間の事業費】 0 千円			
13	○	河川管理費 【R7年度当初予算　30,000 千円】 【 参考(前年度)　29,535 千円】	県から委託を受けている一級河川の除草と、市の管理する準用河川等の修繕工事などにより、河川を適切に管理し、自然環境の保全と河川の増水による被害の軽減を図ります。	継続	継続	継続	建設課
				【3年間の事業費】 90,000 千円			
14	○	空家等総合対策事業 【R7年度当初予算　15,700 千円】 【 参考(前年度)　9,440 千円】	所有者不存在の空家等に対する応急対応と、令和6年度に創設した空家等除却事業補助金に加えて、令和6年度より、国庫補助を活用した特定空家等の除却を推進し、総合的に空家対策に取組みます。	新規	継続	継続	総務課
				【3年間の事業費】 32,700 千円			

6 行財政改革・市民参画
世界にひらく市民が誇りをもてるまち

基本施策
4 情報化の推進

基本方針

○ 働き方の多様化を踏まえたテレワークや電子決裁の導入による行政事務の効率化、マイナンバーカードの情報連携を活用した行政手続きのオンライン化による市民の利便性向上などについて、市民のニーズや費用対効果の十分な検討を行いながら、情報化政策を推進します。

○ パソコン、モバイル端末などの多様な情報端末から利用しやすい市ウェブサイトの構築と情報発信を進めます。

○ 南魚沼市ウェブサイトの補完として、フェイスブックなどSNSによる情報発信を行うとともに、第二の市報として、モバイル端末で閲覧しやすい「マチイロ」の利用促進を図ります。

施策

1 行政システムの高度化と市民サービスの向上　　2「探しやすい」「利用しやすい」市ウェブサイトの充実

3 多様化する情報発信ツールの有効利用

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
市のウェブサイトアクセス数(年間延べ数)	1,262,501回	1,228,286回	1,400,000回
マイナンバーカード普及率	15.2%	78.7%	41%

戦略プロジェクト

Ⅱ-1			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	高速インターネット運営事業費 [R2年度完了]	光ファイバー網を整備して、市民のインターネット接続に利用してきましたが、一定の役割を終えたことから、設備を含めた運営を民間事業者に譲渡しました。				情報管理室
02	○	電算情報管理一般経費 【R7年度当初予算　91,550 千円】 【 参考(前年度)　109,161 千円】	各業務における電算システムについて、安定的かつ効率的に稼動するため維持管理を行い、行政サービスの向上を図ります。	継続	継続	継続	情報管理室
				【3年間の事業費】 253,400 千円			
03	○	総合行政システム事業費 【R7年度当初予算　232,715 千円】 【 参考(前年度)　137,911 千円】	住民基本台帳、税務、子育て、福祉などの市民生活に関連する総合行政システムの運用により、市民サービスの向上を図ります。 【R7年度】R8.2に基幹系システムを標準準拠システムに切替を行います。	継続	継続	継続	情報管理室
				【3年間の事業費】 510,700 千円			
04	○	内部情報システム事業費 【R7年度当初予算　182,862 千円】 【 参考(前年度)　141,065 千円】	市の行政施設を、光ファイバーケーブルによりＬＡＮ接続し、職員間の情報の共有、事務の効率化、迅速化を図ります。 【R7年度】内部情報系システムの更新に伴い『契約システム』の導入、財務会計システムの電子決裁化など業務の効率化、迅速化を図ります。	継続	継続	継続	情報管理室
				【3年間の事業費】 525,300 千円			
05	○	GISシステム事業費 【R7年度当初予算　3,152 千円】 【 参考(前年度)　2,514 千円】	地理情報システムを更新することにより機能強化を図りながら、税務・消防・防災・建設などのさまざまな分野において活用します。 また、地理情報システムの一部機能を市ウェブサイトで公開し、市民をはじめ、行政以外でも幅広く利用可能とします。	継続	継続	継続	情報管理室
				【3年間の事業費】 36,900 千円			
06	○	戸籍住基システム管理費 【R7年度当初予算　29,391 千円】 【 参考(前年度)　14,169 千円】	戸籍や住民基本台帳関係の各種証明書の信頼性確保のため、サーバー端末機などの適切な維持管理を行い、業務の効率化、迅速化を図ります。 【R7年度】令和７年度に予定しているシステム標準化（住民サービスの向上及び行政の事務効率化等を目的とした国の標準仕様に適合したシステムの導入）に向けて適切にシステム改修等を行います。	継続	継続	継続	市民課
				【3年間の事業費】 49,600 千円			

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
07	○	賦課徴収システム管理費 【R7年度当初予算　10,868 千円】 【 参考(前年度)　11,256 千円】	固定資産税の土地家屋評価システムの維持管理を行い、適正かつ公正な課税に努めます。 【R7年度】R9年度評価替えに向けて路線見直し調査を行います。	継続	継続	継続	税務課
				【3年間の事業費】 35,800 千円			
08	○	固定資産税適正評価事業費 【R7年度当初予算　30,100 千円】 【 参考(前年度)　2,722 千円】	地価の下落を評価額に反映させるため、不動産鑑定評価による時点修正を行い、固定資産税の公平負担と適正化を図ります。	継続	継続	継続	税務課
				【3年間の事業費】 40,300 千円			
09	○	証明書コンビニ交付事業費 【R7年度当初予算　4,249 千円】 【 参考(前年度)　5,512 千円】	マイナンバーカードを利用した住民票、印鑑証明書、所得証明書のコンビニ交付サービスを提供します。	継続	継続	継続	市民課
				【3年間の事業費】 13,000 千円			
10	○	マイナンバーカード交付事業費 【R7年度当初予算　36,667 千円】 【 参考(前年度)　32,321 千円】	マイナンバーカードの今後の利活用につなげるため、カード申請及び交付の受付体制を維持し、さらなるカード普及に努めます。今後カードに係る制度の更改が行われた際には対応を迅速に行います。	継続	継続	継続	市民課
				【3年間の事業費】 108,000 千円			
11	○	広報広聴事業費 【R7年度当初予算　29,924 千円】 【 参考(前年度)　29,886 千円】	最新の情報をわかりやすく速やかに発信できるよう、市報や市ウェブサイトの内容の見直しや充実を図ります。「ざっくばらん」(市政懇談会)や「市民の声」をもとに、さまざまな意見を市政に反映させ、市民が市政を身近に感じられるような広報に努めます。	継続	継続	継続	秘書広報課
				【3年間の事業費】 89,700 千円			

6 行財政改革・市民参画
世界にひらく市民が誇りをもてるまち

基本施策
5 交流の推進と国際化

基本方針

○ 幅広い世代の相互交流による地域コミュニティの活性化を促進するとともに、市民主体の交流活動を支援します。
○ 魚沼地域定住自立圏、雪国観光圏などにより近隣自治体との連携強化を図るとともに、国内の友好都市など他地域との交流・連携を推進します。
○ 地域間交流や国際交流による交流人口・関係人口の創出を積極的に支援し、人と人との交流を通して誇りや魅力が感じられる住みやすいまちづくりを推進します。
○ 姉妹都市や国際大学との交流・連携により、国際協力や国際知識、コミュニケーション能力を高める国際理解教育を推進し、グローバル社会に対応した人材の育成を図ります。
○ 新たな在留資格の創設に伴う外国人材の地域社会への定着を促進するとともに、多文化共生社会のまちづくりを推進します。

施策

1 地域間交流の推進
2 広域連携の推進
3 都市間連携の推進
4 国際化の推進
5 次代を担う子ども達の国際理解教育の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
「総合型地域スポーツクラブ」への市外からの参加者数	468人	664人	568人
国際理解教育活動事業の参加者数	179人	64人	150人
定住自立圏域自治体との市民サービス向上のための連携業務数	3業務	6業務	6業務

戦略プロジェクト

Ⅱ-1	Ⅱ-2	Ⅳ-6		

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	地域コミュニティ活性化事業費 [6-2再掲事業] 【R7年度当初予算 86,339 千円】 【 参考(前年度) 78,038 千円】	市内12地区の地域づくり協議会に権限と予算(交付金)を配分し、市民主体のまちづくり活動を支援します。地域に根差した事業として定着を図るため、それぞれの地域の特性を生かした事業が実施できるよう、交付金の活用方法を地域が主体的に協議し、決定できるなど、柔軟な制度としています。 ・活性化支援事業交付金：地域の課題解決や活性化を目的とした事業、地域を超えた広域連携の推進に対する交付金 ・拠点支援交付金：地域住民の活動拠点である、地区センターの管理運営及び事務に対する交付金	継続	継続	継続	U&Iときめき課
				【3年間の事業費】 255,000 千円			
02	○	交流事業費 【R7年度当初予算 1,999 千円】 【 参考(前年度) 1,395 千円】	国内外の友好都市とさまざまなイベントを通し相互訪問などを行い、交流活動を推進します。 【R7年度】江戸川区との友好都市５周年記念事業を実施します。	継続	継続	継続	秘書広報課
				【3年間の事業費】 8,600 千円			
03	○	国際交流及び文化・スポーツ基金事業費 【R7年度当初予算 22,569 千円】 【 参考(前年度) 22,541 千円】	インターナショナル・ビレッジ、イングリッシュ・ビレッジを実施し、小・中学校段階から国際理解を深める機会を提供します。 また、中学生高校生の海外派遣事業を実施し、体験活動を通じてグローバル社会に対応した人材の育成を図ります。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 67,700 千円			
04	○	教育課程特例校事業費 [2-1再掲事業] 【R7年度当初予算 32,090 千円】 【 参考(前年度) 32,293 千円】	全国一律のカリキュラムである生活科・総合的学習の授業を振り替え「国際科」を設置し、市内全小学校で国際大学留学生等による国際理解教育やＡＬＴによる英語教育を実施し、豊かな国際感覚やコミュニケーション能力を育成します。	継続	継続	継続	学校教育課
				【3年間の事業費】 96,200 千円			

6 行財政改革・市民参画
世界にひらく市民が誇りをもてるまち

基本施策
6 共感と共生のまちづくり

基本方針

○ 子どもから高齢者まで年齢、性別、国籍に関わりなく誰もが互いの人権を尊重し、人権に関する正しい理解と行動を身につけることで、あらゆる差別や偏見を許さない人権尊重のまちづくりを目指します。

○ 性別による固定的な役割分担意識の解消を図るとともに、それぞれの個性と能力を発揮し、認め合い、共に責任を分かち合い、仕事、家庭、地域社会のバランスのとれた暮らしができる男女共同参画社会の実現を目指します。

○ 適切な情報発信により、企業などの女性活躍に向けた自主的な取組や地域における女性の活躍を促進します。

施策

1 人権尊重のまちづくりの推進　　2 男女共同のまちづくりの推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
市の審議会・委員会等の女性登用率	22.5%	27.2%	30%
行政区における区長・執行部役員の女性割合	2.4%	3.7%	5%

戦略プロジェクト

Ⅲ-4

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	人権啓発推進費 【R7年度当初予算　2,628 千円】 【 参考(前年度)　2,408 千円】	あらゆる差別や偏見を許さない人権尊重のまちづくりの実現に向け、人権教育と啓発を推進します。 【R7年度】第二次南魚沼市人権教育・啓発推進計画を策定します。市民アンケート調査の結果公表、パブリックコメントを行い、R8年3月の公表を目指します。	継続	継続	継続	市民課
				【3年間の事業費】 4,300 千円			
02	○	男女共同参画推進費 【R7年度当初予算　1,693 千円】 【 参考(前年度)　1,693 千円】	男女共同参画社会の実現に向け、研修会やセミナーを開催するなど、市民への啓発活動に取り組みます。また、男女が共に働きやすい環境づくりのため、新潟県ハッピーパートナー企業に登録している企業を対象に、女性活躍の推進を目的とした職場環境改善の取組と男性の育児休暇取得に対して経費補助等の支援を行います。	継続	継続	継続	企画政策課
				【3年間の事業費】 5,000 千円			

6 行財政改革・市民参画
世界にひらく市民が誇りをもてるまち

基本施策
7 総合的な人口減少対策の推進

基本方針

○ 出産・子育て・教育など幅広い分野の切れ目のない支援により、出産、子育ての負担感を軽減するとともに、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進し、若い世代の定住促進を図ります。

○ 人口の自然増と社会増の好循環を生み出すために、UIJターンなどの移住・定住施策を推進するとともに、年齢に関わらず、誰もが心身ともに元気に暮らせる安全・安心なまちづくりを推進します。

○ 人口減少の進行に対応する施策について、行政と民間企業、教育機関、金融機関、医療機関、市民団体など多様な主体が連携し、社会経済の変化に即した一体的な取組を推進します。

○ 民間企業や関係団体の主体的な取組と連携するとともに、住宅・福祉・健康・教育・スポーツ・雇用など、あらゆる施策を分野横断的・総合的に組み合わせ、すべての世代の誰もが生涯にわたり活躍できるまちづくりを推進します。

○ 公有財産や空き家・空き店舗、未利用地など市内の遊休資源の活用や、企業版を含むふるさと納税の有効活用、クラウドファンディングによる資金調達などについて官民連携の体制で調査・検討するとともに、地域のマネジメント人材と事業運営主体の育成を推進します。

施策

1 交流機会の拡大と関係人口の創出
2 移住・定住の促進
3 誰もが居場所と役割を持つコミュニティづくりの推進
4 官民連携による取組の推進

指標名	R1現在値	最新値(R5)	R6目標値
現地交流会等イベント参加者数	78人	192人	80人
移住希望者の相談件数	234件	345件	250件
ふるさと応援隊登録者数	10,259人	30,996人	30,000人
ふるさと納税寄附件数	47,327件	173,668件	107,000件
婚活・交流イベントの開催回数	4回	4回	6回

戦略プロジェクト

Ⅱ-1	Ⅱ-2	Ⅲ-3	Ⅳ-5

事業No.		事業名 事業費	事業内容	R7	R8	R9	担当課
01	○	雪資源活用事業費 [3-3再掲事業] 【R7年度当初予算 15,270 千円】 【 参考(前年度) 19,322 千円】	地域固有の再生可能エネルギー「雪氷熱利用」を公共施設の省エネ化に活用するため、雪の冷房効果を分析、可視化するDXの導入や貯雪性能の高い保温シートの開発を民間企業や大学等と連携して実施します。また、清水貯雪場の雪を活用し、市内外でのＰＲ活動を進めて、雪国ブランディングの構築や市民に向けたシビックプライドの醸成を推進します。 【Ｒ7年度】雪冷熱冷房施設の効果分析DX導入、貯雪性能技術開発支援を行います。	継続	継続	継続	環境交通課
				【3年間の事業費】 22,800 千円			
02	■	メディカルタウン関連整備事業費 [R2年度完了]	メディカルタウン構想の用地については、雨水・消雪排水の能力不足が、民間事業者進出の障害となっていたことから、水無川に直接排水する排水路の整備を行いました。				企画政策課
03	○	移住・定住促進事業費 【R7年度当初予算 44,821 千円】 【 参考(前年度) 40,970 千円】	雪国での田舎ライフに興味のある層を対象とし、仕事や住まいなどの個々の要望に対応できる相談体制により、移住・定住の促進を図り、より広い層を対象として関係人口の拡大を目指します。	継続	継続	継続	U&Iときめき課
				【3年間の事業費】 134,600 千円			
04	○	生涯活躍のまち推進事業費 【R7年度当初予算 11,204 千円】 【 参考(前年度) 11,104 千円】	雪を中心とした地域資源の活用やリモートワークによる関係人口を増大させることにより、地域経済の活性化を図るとともに、障がい者、女性、高齢者の活躍の場をつくりだすことで、すべての人のやりがいと居場所を創出します。	継続	継続	継続	U&Iときめき課
				【3年間の事業費】 33,600 千円			

3. ふるさと応援活用基金事業

基本方針

令和3年9月に策定された第3次財政計画に基づき、ふるさと納税制度による寄附金を活用するための基本方針について、令和3年度までの寄附金を「ふるさと応援基金」、令和4年度以降の寄附金を「ふるさと応援活用基金」として運用していくこととしました。
「ふるさと応援基金」については、財政運営安定化のため令和12年度までの事業費に充当して活用し、「ふるさと応援活用基金」については、下記に記載した一定の要件を満たした事業について活用していきます。

○ 市の施策として政策的に推進する事業
○ 経常的な事業への充当は避け、単年度又は数年で終了する新規事業
○ 必要性があっても緊急性がないため財源不足を理由に先延ばしにされてきた事業及び投資的事業

掲載内容について注記

【事業費】
・事業は、国県の補助金、有利な起債などとともに、ふるさと応援活用基金を活用して実施するため、事業費とふるさと応援活用基金の活用金額は一致しない場合があります。

【事業内容】
・事業№.14、18については実施計画事業のうち、事業内容の一部又は全部を「ふるさと応援活用基金事業」と位置付けた事業です。該当する実施計画事業の基本施策番号と事業№.、事業内容と事業費を記載しています。

・事業№.08、11は、実施計画に掲載されていない事業の一部又は全部を「ふるさと応援活用基金事業」と位置付けた事業です。予算額の右側に「※」を記載しています。

・ふるさと納税制度の変更、寄附金額の増減などにより、実施する事業について内容の変更、又は追加、中止する場合があります。

【寄附コース】
・寄附は、下記の7つのメニューから寄附の使いみちを選んで行われます。実施される事業がどのコースの寄附を活用しているかを表示しています。
1.健康・福祉・子育てのまちづくり事業
2.学ぶ喜び・文化をはぐくむまちづくり事業
3.豊かな自然づくりのための事業
4.安全・快適で住み続けたいまちづくり事業
5.力強い産業のまちづくりのための事業
6.市民が誇りを持てるまちづくり事業
7.市長にお任せ

基本施策番号	事業No.		事業名 事業費	事業内容	事業実施期間 総事業費	寄附コース	担当課
1-1	01	■	健診施設等建設事業費 【R7年度当初予算 2,867,787 千円】 【 参考(前年度) 1,036,487 千円】	これまでの市立病院との連携による疾病予防に加えて介護予防も視野に入れて健康寿命の延伸と生きがいの創出を図ることで人生100年時代に対応する新たな健診施設を建設します。 ・R6～7：建設工事 ・R8：オープン	R7 【総事業費】 2,867,700 千円	1.健康・福祉・子育てのまちづくり事業	保健課
1-2	02	■ ○	医療のまちづくりに関する骨太の計画推進事業 【R7年度当初予算 349,000 千円】 【 参考(前年度) 249,000 千円】	医療のまちづくりを目指し、骨太の計画を推進するための事業を実施します。 ・高額医療機器の更新 ・人材確保のための移住支援金の支給 ・地域医療体制維持のため診療所の新規開業、事業承継への支援	R7～R10 【総事業費】 448,000 千円	1.健康・福祉・子育てのまちづくり事業	病院事業課・保健
2-1	03	■	小中学校エアコン更新事業費 【R7年度当初予算 80,871 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	老朽化が進み故障が相次いでいる小・中・総合支援学校の既設エアコンについて、更新を行うことで適切な学習環境を維持します。 【R7年度】北辰小学校・大崎小学校のエアコン更新を実施します。	R7～R9 246,100 千円	2.学ぶ喜び・文化をはぐくむまちづくり事業	学校教育課
2-1	04	■	小中学校トイレ改修事業費 【R7年度当初予算 50,616 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	老朽化が進み衛生上も問題がある小・中学校のトイレについて、洋式便座への交換や床のドライ化を行い、清潔で快適なトイレを整備します。 【R7年度】六日町小学校のトイレ改修を実施します。	R7～R8 【総事業費】 104,700 千円	2.学ぶ喜び・文化をはぐくむまちづくり事業	学校教育課

基本施策番号	事業No.		事業名 事業費	事業内容	事業実施期間 総事業費	寄附コース	担当課
2-1	05	■	小中学校電子黒板設置事業費 ［R6年度完了］	小・中・総合支援学校の普通教室、特別教室に電子黒板を設置しました。 ・小学校 129台 ・中学校 51台 ・総合支援 12台	R5	2.地域社会を支える人づくりコース	学校教育課
4-2	06	■	緊急消雪施設改修事業費 【R7年度当初予算 175,483 千円】 【 参考(前年度) 175,483 千円】	老朽化した市道消融雪施設を改修します。 ・ポンプ交換等約30箇所 ・消雪パイプ布設替L=約6.6ｋｍ	R7 【総事業費】 175,400 千円	4.安全・快適で住み続けたいまちづくり事業	建設課
4-2	07	■	緊急消雪施設新設事業費 ［R6年度完了］	ほくほく線の魚沼丘陵駅の駐車場は、日中や夜間に駐車する車があり、積雪の多い時期は機械除雪が困難になるため、消雪パイプを設置し利用者の利便性と安全を確保しました。	R6	4.安全・快適で住み続けたいまちづくり事業	都市計画課
4-2	08	■	緊急舗装改修事業費 【R7年度当初予算 340,400 千円】※ 【 参考(前年度) 345,100 千円】	・劣化した市道アスファルト舗装を改修します。 L=約22ｋｍ ・六日町駅西口駐車場の劣化した舗装を改修します。A=約640㎡	R7 【総事業費】 340,400 千円	4.安全・快適で住み続けたいまちづくり事業	建設課・都市計画課
5-3	09	■	田園都市構想施設整備事業費 【R7年度当初予算 300,000 千円】 【 参考(前年度) 40,000 千円】	南魚沼市の自然、文化や風土などの地域資源を活用し、新たな産業の創出、地域活性化を図るため、拠点となる道の駅南魚沼を再整備します。 ・道の駅（直売所・休憩所・トイレ）のリニューアル及び施設の増築 ・今泉記念館大規模改修 ・道の駅の連携施設として旧石打小学校の利活用検討 【Ｒ7年度】実施計画及び用地買収を行います。	未定 【総事業費】 3,005,000	5.力強い産業のまちづくりのための事業	商工観光課・農林課 環境交通課・企画政策課
6-1	10	■	新庁舎建設事業費 【R7年度当初予算 0 千円】 【 参考(前年度) 0 千円】	老朽化が進む本庁舎について、具体的な事業化はまだ先となりますが、新庁舎建設は今後の重要な課題のひとつであるとの認識を持ち、具体化に向けた検討を始めます。	未定 【総事業費】 未定	6.市民が誇りを持てるまちづくり事業	財政課
5-1	11	○	南魚沼産コシヒカリ販促事業 （R6年度までは農業者等緊急支援事業費） 【R7年度当初予算 30,000 千円】※ 【 参考(前年度) 30,000 千円】※	南魚沼産コシヒカリのブランドイメージ向上のために、イベント実施や広告掲載などの販促活動を行います。	R7～R10 【総事業費】 120,000 千円	5.力強い産業のまちづくりのための事業	農林課
1-3	12	■	保育園大規模改修事業費 ［R6年度完了］	公共施設等総合管理計画に基づき、公立保育園として存続する施設を順次改修して長寿命化を図ります。 【Ｒ6年度】石打保育園の改修を行いました。	R6	1.健康・福祉・子育てのまちづくり事業	子育て支援課
1-5	13	■	介護施設大規模改修緊急5か年事業 【R7年度当初予算 50,000 千円】 【 参考(前年度) 50,000 千円】	介護保険制度開始から20年以上が経過し、施設や設備の老朽化が大きな課題となっています。令和6年度から５か年の緊急事業として、国や県の大規模改修事業の補助金を受けられない事業所に対し、改修費の一部補助を行い、安定的な介護サービスの提供の実現を図ります。	R7～R10 【総事業費】 200,000 千円	1.健康・福祉・子育てのまちづくり事業	介護保険課

基本施策番号	事業No.		事業名 事業費	事業内容	事業実施期間 総事業費	寄附コース	担当課
2-1	14	■	小中学校大規模改修事業 【R7年度当初予算　457,449 千円】 【 参考(前年度)　496,787 千円】	老朽化した小・中学校について、経年劣化した施設の大規模改造工事を実施します。 【Ｒ7年度】 ・2-1No20-4北辰小学校大規模改造工事 北辰小学校校舎外壁等の大規模改造工事を実施します。 233,449千円 ・2-1No21-4大和中学校改築事業 実施設計業務と周辺の地質調査及び用地測量業務を実施します。 224,000千円	R7～R10 【総事業費】 5,512,400 千円	2.学ぶ喜び・文化をはぐくむまちづくり事業	学校教育課
2-1	15	■	統合給食センター建設事業 ［R6年度完了］	統合給食センターの運営に向けて必要な設備を整備します。 【Ｒ6年度】給食配送トラック更新、統合給食センター建設事業を実施しました。	R6	2.学ぶ喜び・文化をはぐくむまちづくり事業	学校教育課
3-3	16	■	市内各施設照明LED化事業 【R7年度当初予算　577,856 千円】 【 参考(前年度)　125,327 千円】	市内各施設の照明をＬＥＤに改修し、維持管理費の縮減を図るとともに、環境負荷の低減を行います。 【Ｒ7年度】 ・市内小中学校体育館照明のLED化を実施します。 38,200千円 ・大原運動公園野球場スコアボード他、市内体育館のLED化を実施します。 334,910千円 ・市内保育園照明のLED化を実施します。 88,000千円 ・ふれ愛支援センター照明のLED化を実施します。 25,630千円 ・池田記念美術館照明のLED化を実施します。 13,574千円 ・牧之記念館内（展示ケース以外）のLED化を実施します。 6,402千円 ・南魚沼市民会館（大ホール・多目的ホール除く）のLED化を実施します。 28,490千円 ・文化資料展示館（池田記念美術館）のＬＥＤ化を実施します。 13,574千円 ・子ども・若者相談支援センターのLED化を実施します。 3,894千円 ・斎場照明のLED化を実施します。 17,182千円 ・大崎農業会館照明のLED化を実施します。 6,000千円 ・大和庁舎３階議場のLED化を実施します。 2,000千円	R7～R10 【総事業費】 1,129,300 千円	3.豊かな自然づくりのための事業	各施設管理担当課
3-3	17	■	新エネルギー政策推進事業費 ［R6年度完了］	市民、事業者、市等の各主体が取組むべき具体的内容を定めた「地球温暖化対策実行計画」を策定し、国が進める2050年カーボンニュートラルの実現に向けた2030年50%温室効果ガス削減を達成するための支援体制の構築を図り、市自らが再生可能エネルギーを推進する施策を展開するとともに、市民への啓発を図ります。 【Ｒ6年度】 市役所敷地内への太陽光発電設備及び窓ガラス遮蔽コーティングを実施しました。	R6	3.豊かな自然づくりのための事業	環境交通課

基本施策番号	事業No.		事業名 事業費	事業内容	事業実施期間 総事業費	寄附コース	担当課
4-1	18	■	塩沢交流広場整備事業費 【R7年度当初予算　25,000 千円】 【 参考(前年度)　80,000 千円】	つむぎ通り整備事業に合わせて景観に調和した広いトイレに改築し、大型バスで訪れる観光客や障がい者等に対応できるようにします。 【Ｒ7年度】 ・4-1No08塩沢交流広場整備事業費 塩沢交流広場トイレ外構工事を実施します。	R7 【総事業費】 25,000 千円	4.安全・快適で住み続けたいまちづくり事業	都市計画課
5-1	19	■	用排水路等長寿命化緊急5か年事業費 【R7年度当初予算　30,000 千円】 【 参考(前年度)　30,000 千円】	多面的機能支払事業で農業関係者から特に要望の多い、コンクリート側溝を新設・更新する長寿命化事業に対して更なる支援を行いました。	R7～R10 【総事業費】 120,000 千円	5.力強い産業のまちづくりのための事業	農林課
6-1	20	■	大巻地域開発センター改築事業費 【R7年度当初予算　400,000 千円】 【 参考(前年度)　54,373 千円】	地域コミュニティの活動拠点の場として、老朽化した大巻地域開発センターの改築を行います。 【Ｒ7年度】 おおまき小学校の周辺に改築を行います。	R7 【総事業費】 400,000 千円	6.市民が誇りを持てるまちづくり事業	財政課
6-4	21	■	DX推進事業 ［R6年度完了］	南魚沼市ＤＸ推進計画に基づき、デジタル技術を用いて、行政事務の効率化と市民サービスの充実を図ります。 【Ｒ6年度】スーパーアプリ、母子健康支援システム、子育てICTシステムを導入しました。	R6	6.市民が誇りを持てるまちづくり事業	ＤＸ推進室

4. 資料

戦略プロジェクト
「4つのプロジェクト」と「17の基本プロジェクト」

基本プロジェクト番号

Ⅰ 産業振興・働きやすいまちプロジェクト

1 商工業の振興と起業・創業の支援	Ⅰ−1
2 南魚沼産コシヒカリを核とした農業の振興	Ⅰ−2
3 自然環境や地域特性を活用した産業振興	Ⅰ−3
4 若者・女性への就職支援	Ⅰ−4

Ⅱ 移住定住・ひとの流れをつくるプロジェクト

1 「選ばれる」ための総合的な移住・定住の促進	Ⅱ−1
2 交流人口・関係人口の創出・拡大	Ⅱ−2
3 地域資源を活用した質の高い観光交流の推進	Ⅱ−3

Ⅲ 子ども・子育て応援プロジェクト

1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	Ⅲ−1
2 「南魚沼らしい」教育環境の充実	Ⅲ−2
3 結婚の希望をかなえる支援	Ⅲ−3
4 仕事・子育て両立の支援	Ⅲ−4

Ⅳ 全員活躍のまちプロジェクト

1 生涯にわたる健康・医療・福祉の充実	Ⅳ−1
2 生涯学習・文化活動の充実による「学びの循環社会」の創造	Ⅳ−2
3 持続可能な循環型社会の推進	Ⅳ−3
4 暮らしを支える社会基盤の整備	Ⅳ−4
5 協働のまちづくりの推進	Ⅳ−5
6 効率的な都市経営の推進	Ⅳ−6

第2次南魚沼市総合計画(後期基本計画)
令和7年度～令和9年度実施計画

発　　行　　南魚沼市
〒949-6696
新潟県南魚沼市六日町180番地1
電　話　025-773-6672
E-MAIL　kikaku@city.minamiuonuma.lg.jp

編　　集　　南魚沼市 総務部 企画政策課

発 行 年 月　　令和7年3月